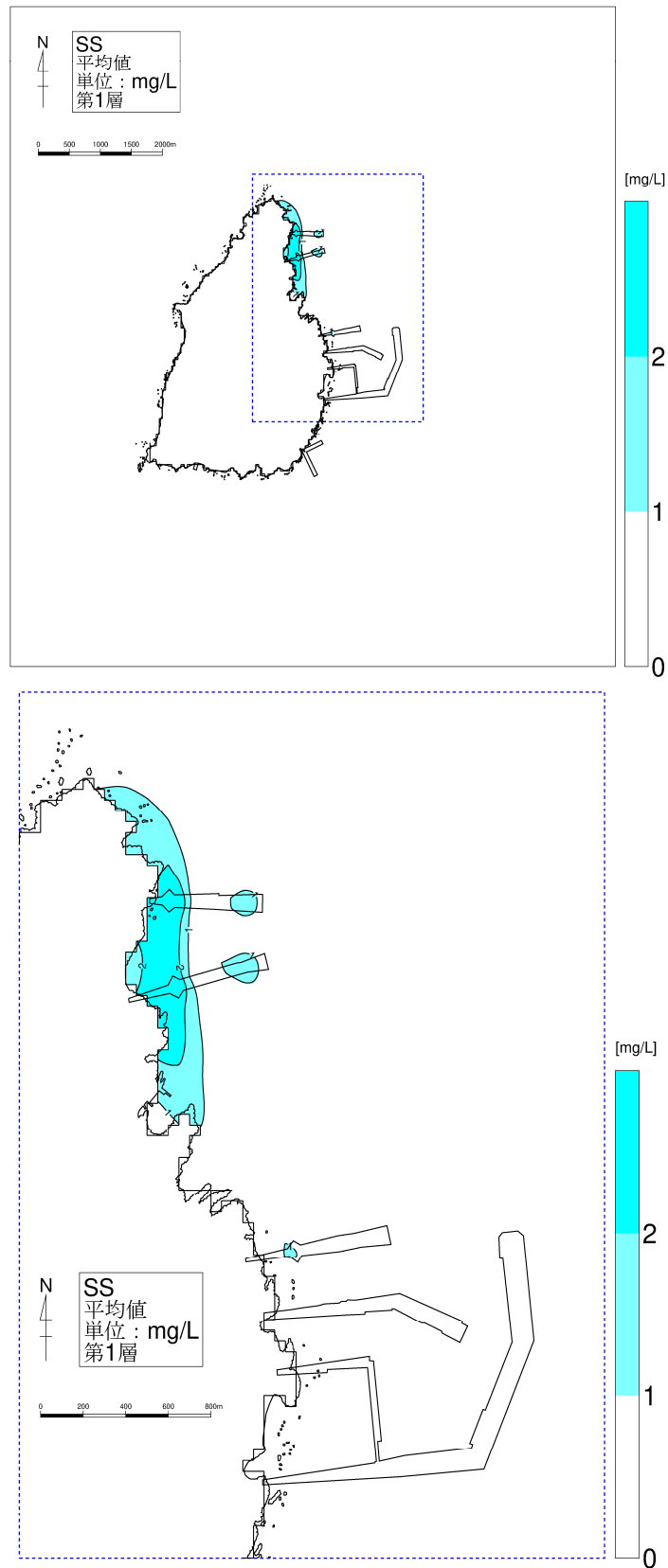


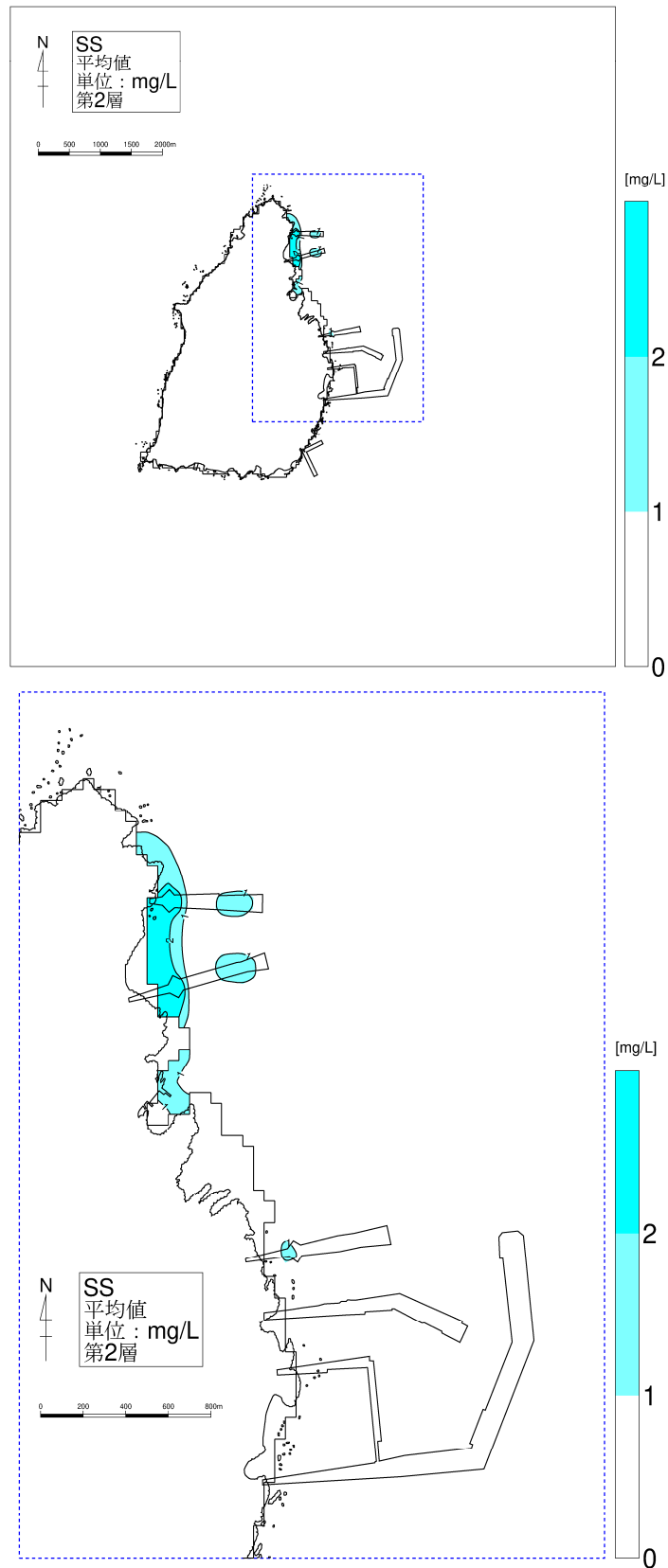
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.9(10) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日最大値、第10層[100m以深])



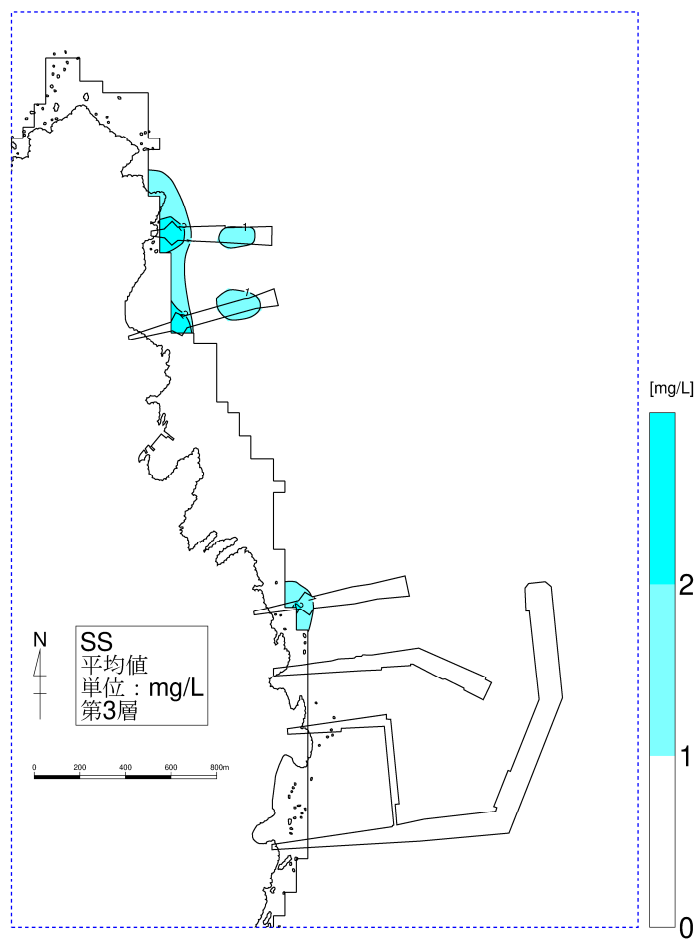
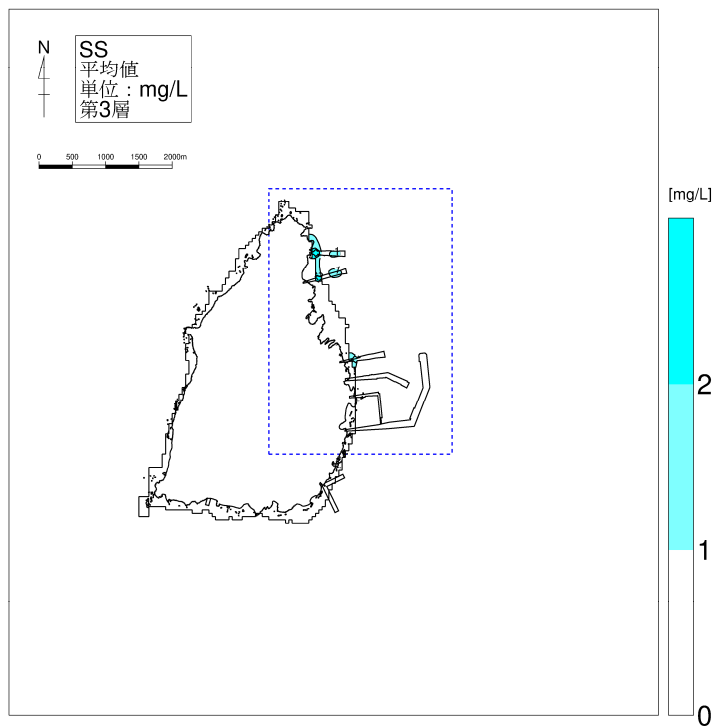
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(1) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均值、第1層[0~2m])



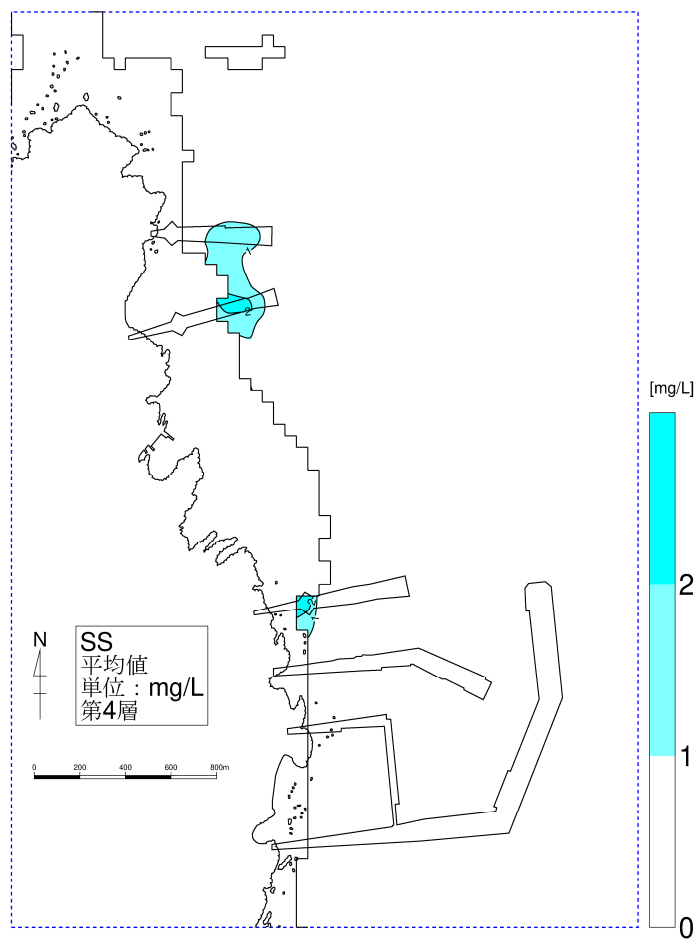
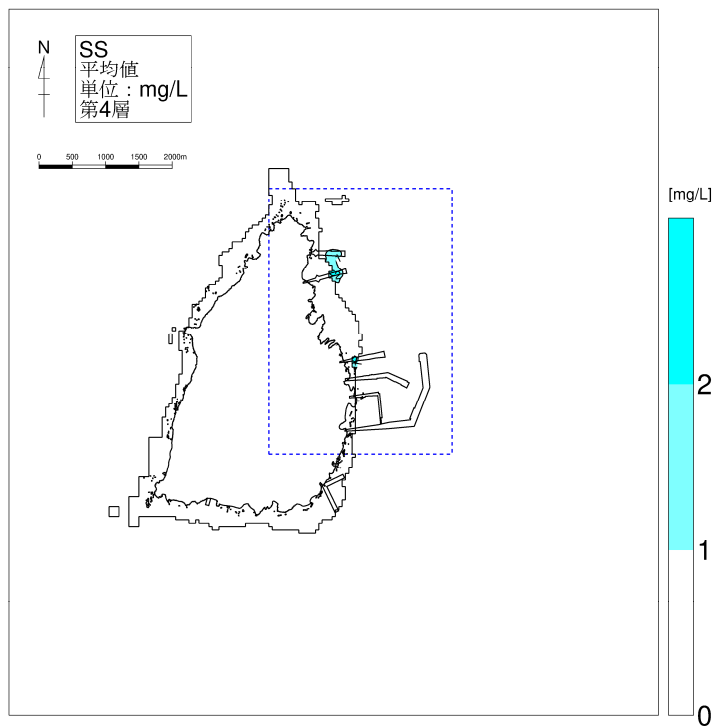
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(2) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第2層[2~4m])



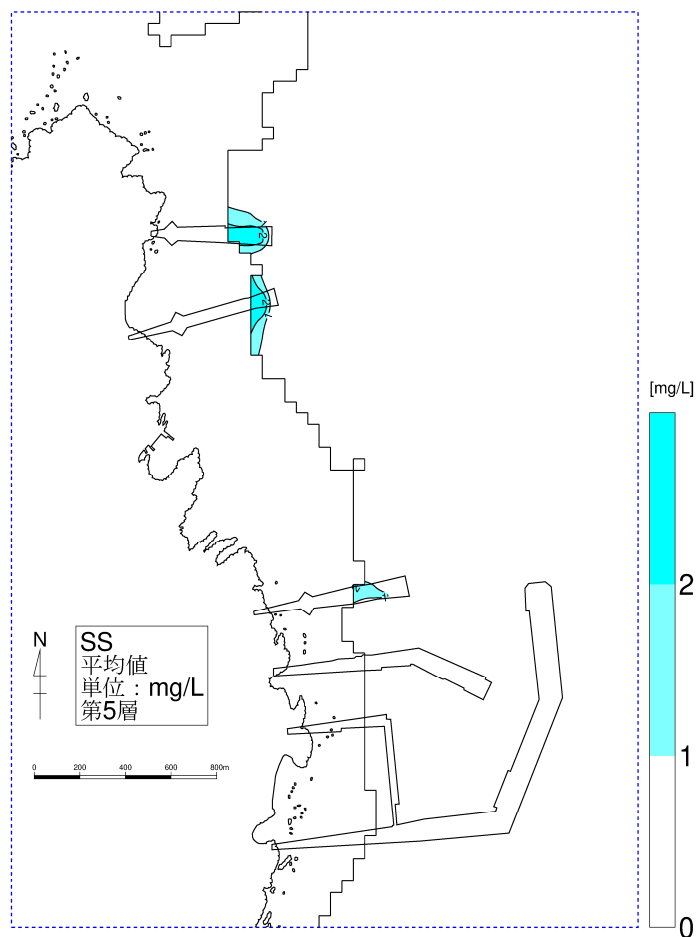
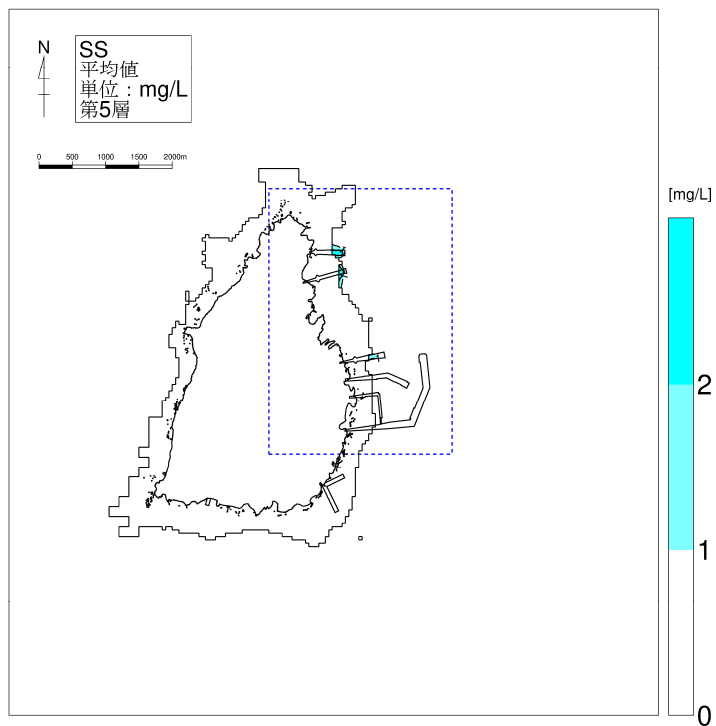
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(3) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第3層[4~7m])



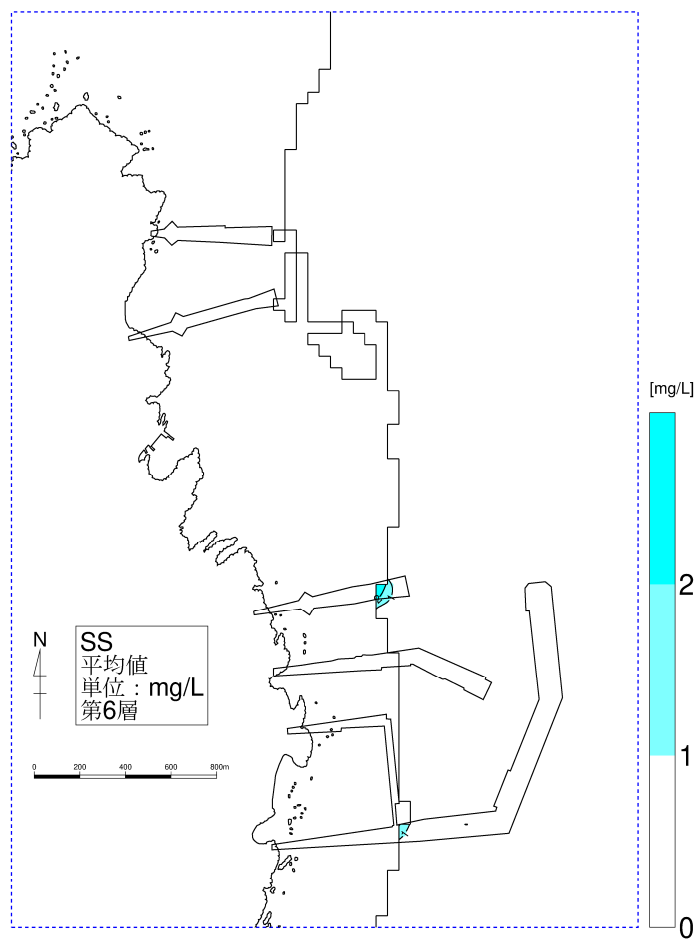
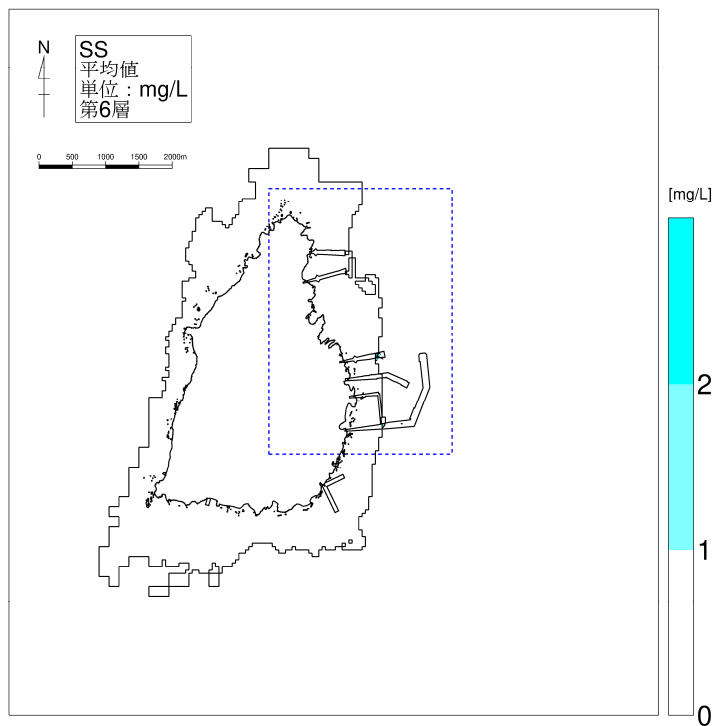
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(4) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第4層[7~10m])



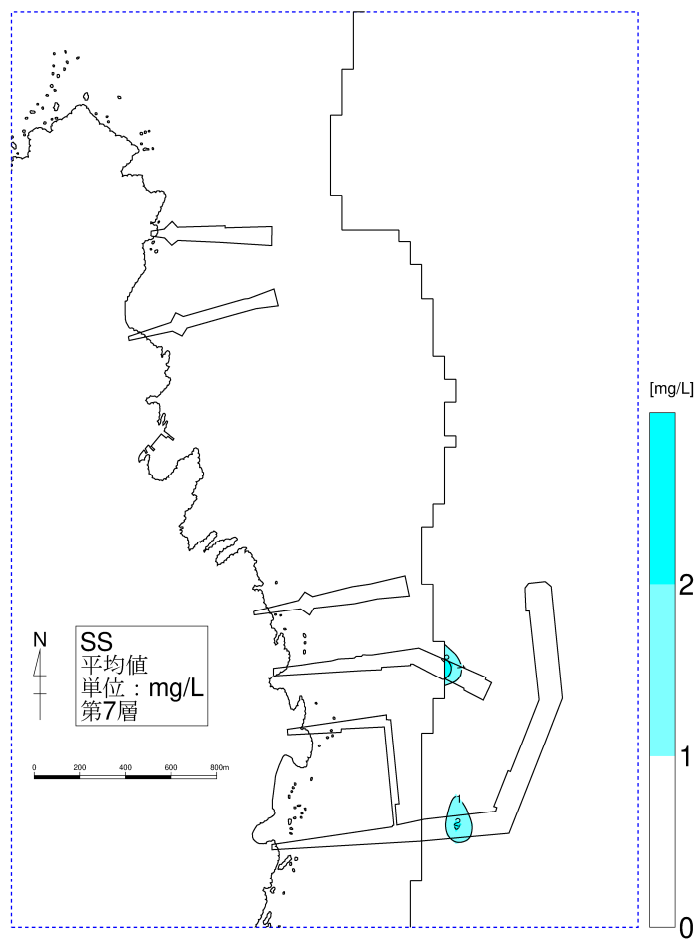
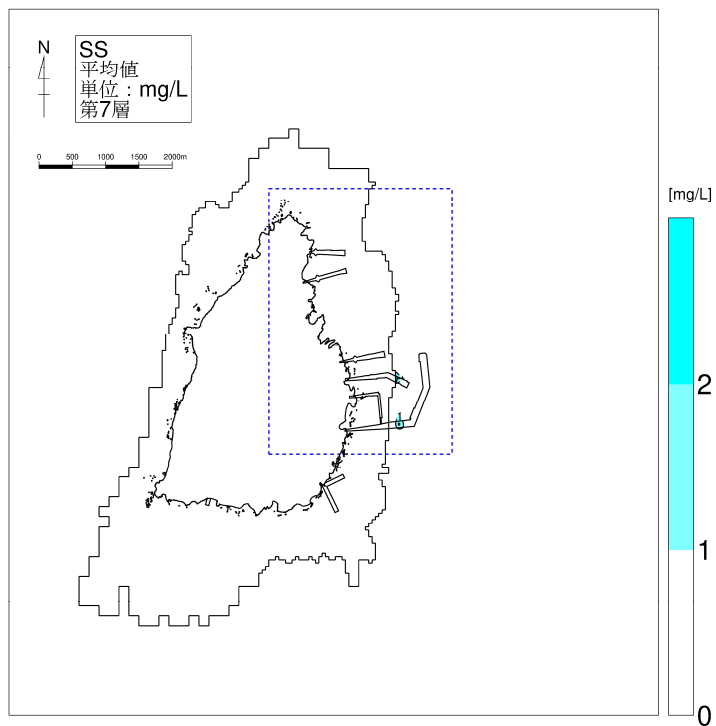
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(5) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第5層[10~15m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

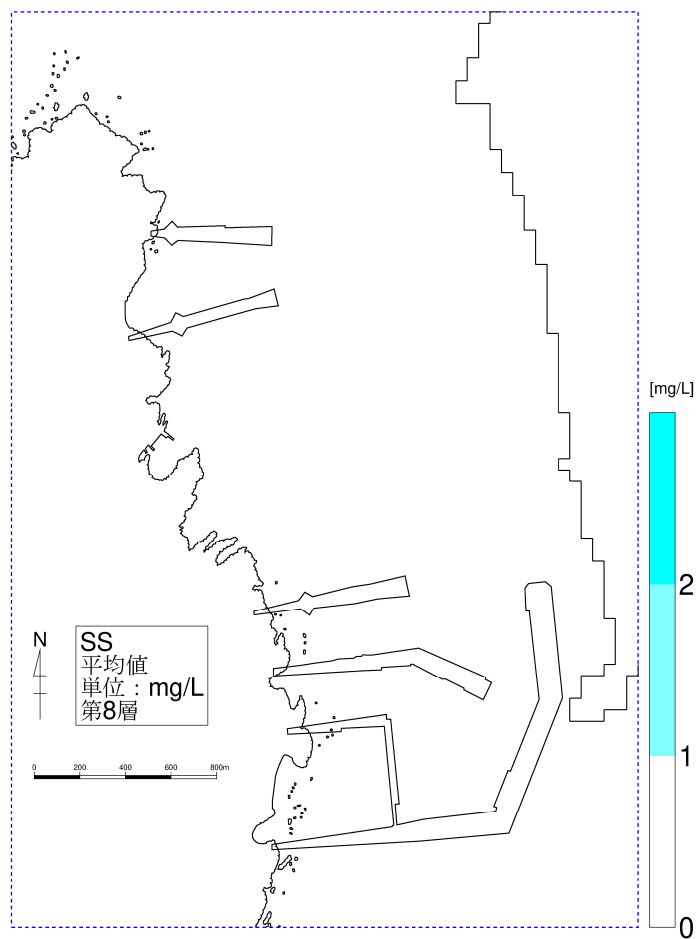
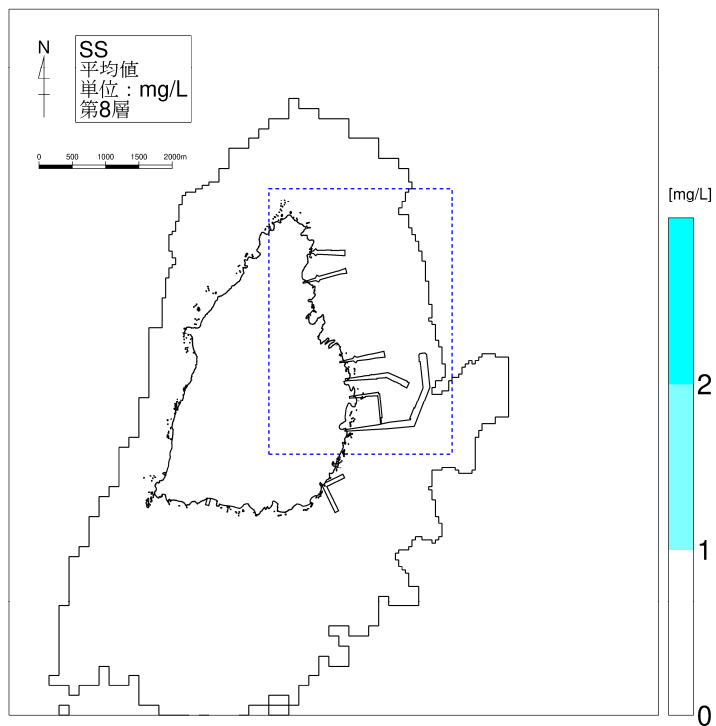
図-6.7.10(6) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第6層[15~20m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

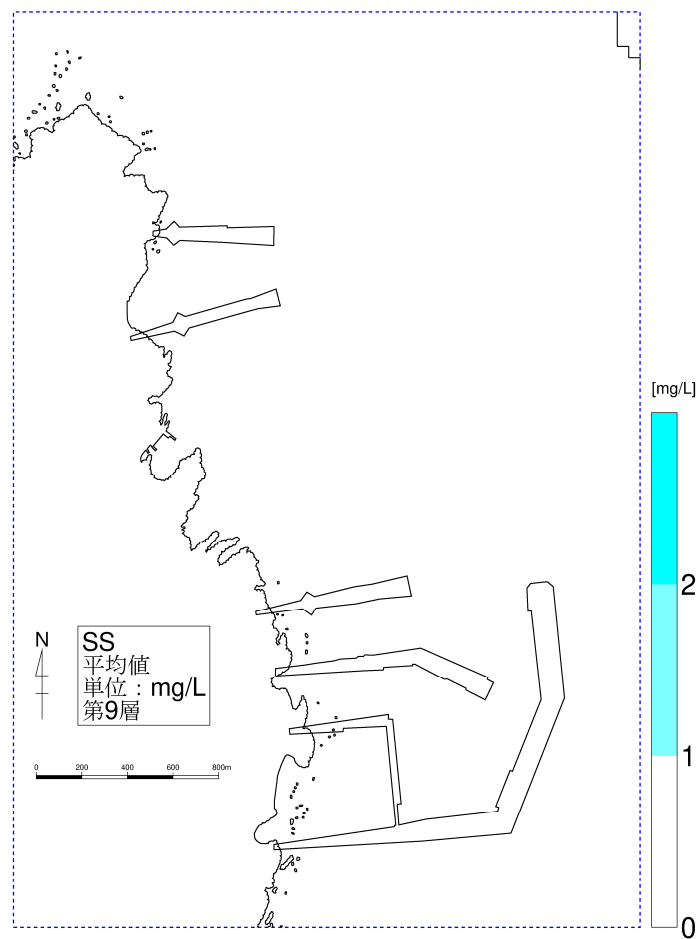
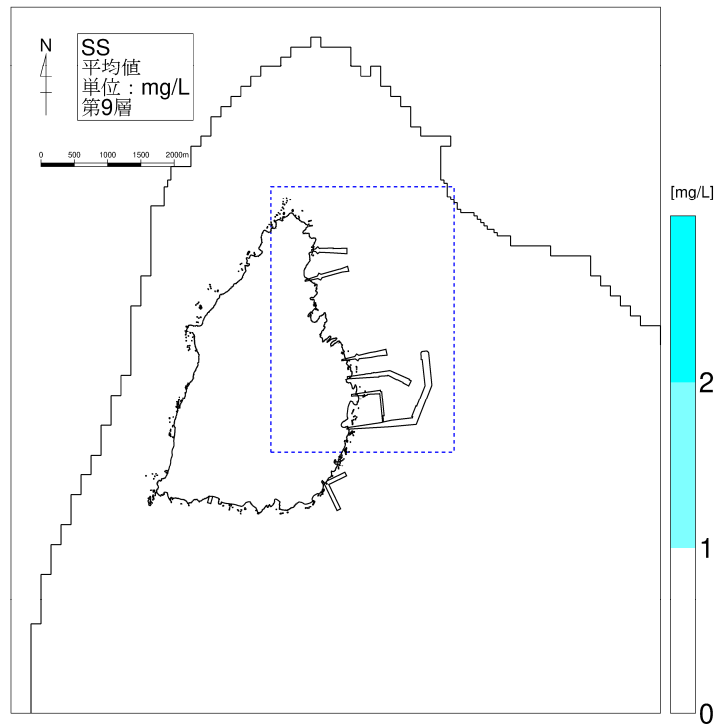
図-6.7.10(7) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第7層[20~30m])





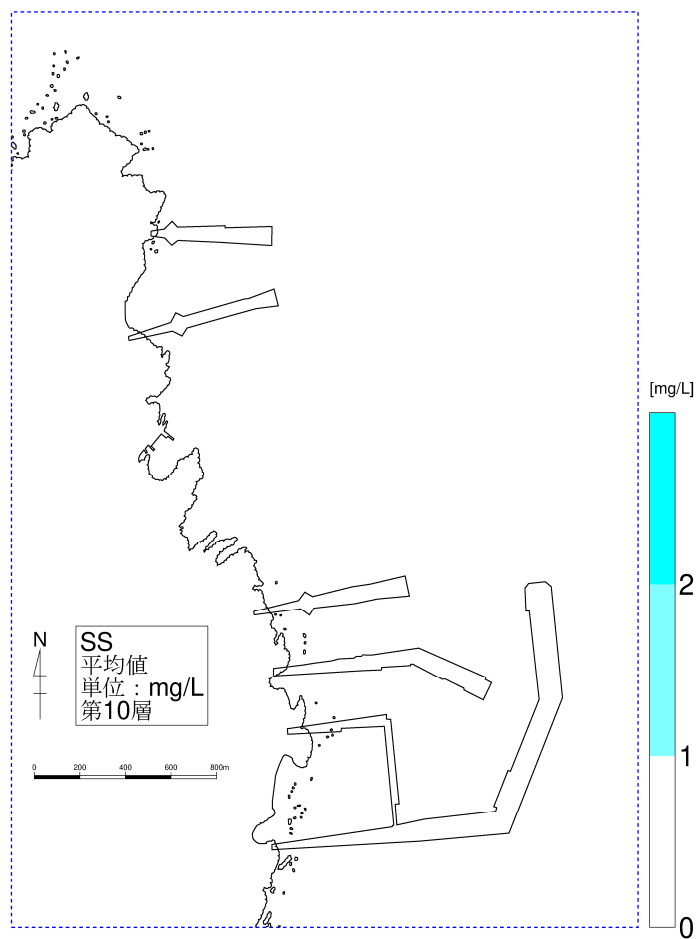
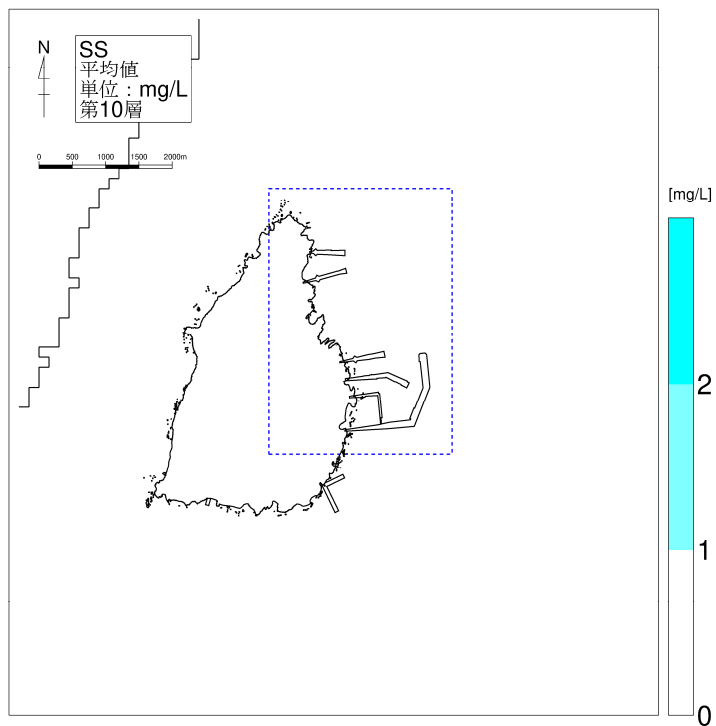
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(8) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第8層[30~50m])



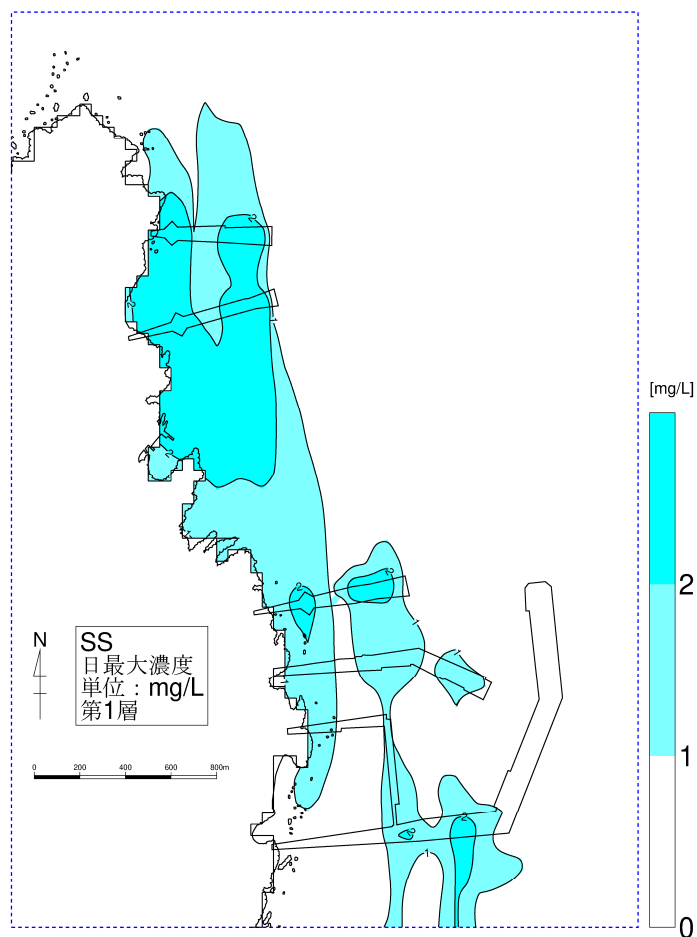
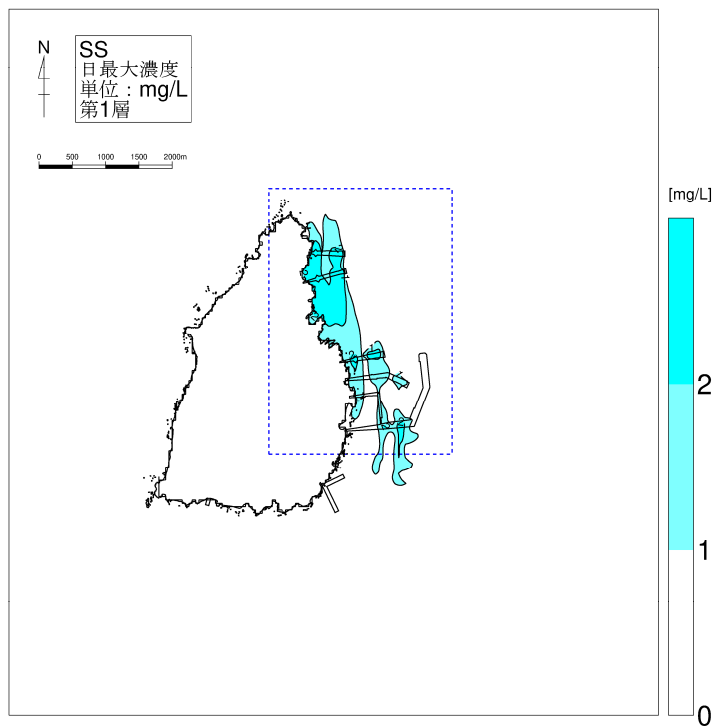
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(9) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第9層[50~100m])



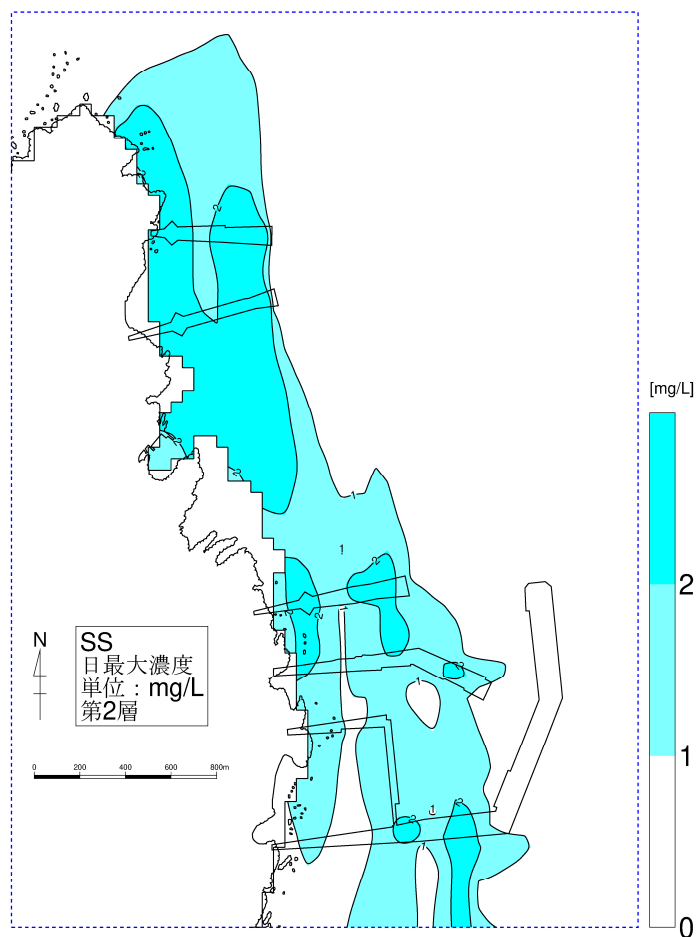
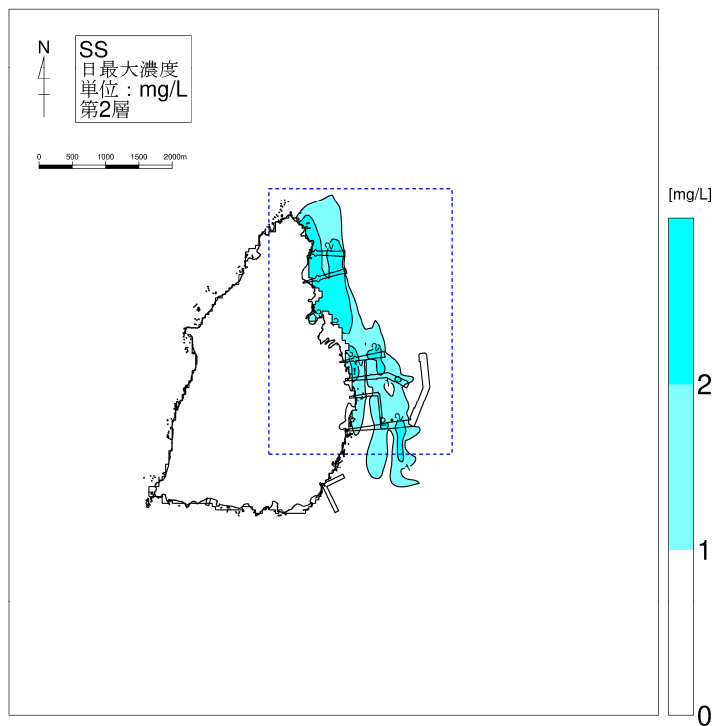
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.10(10) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、夏季、日平均値、第10層[100m以深])



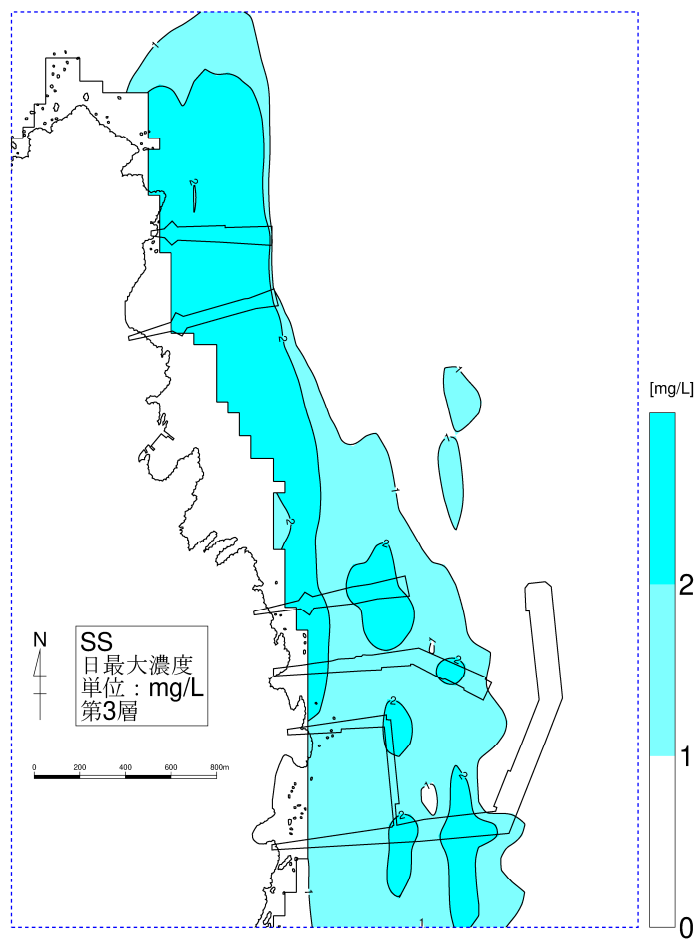
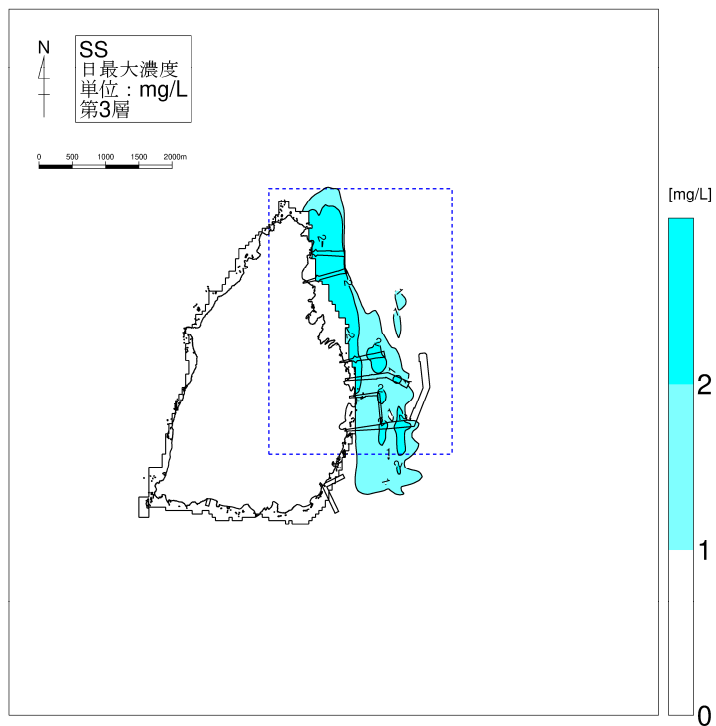
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(1) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第1層[0~2m])



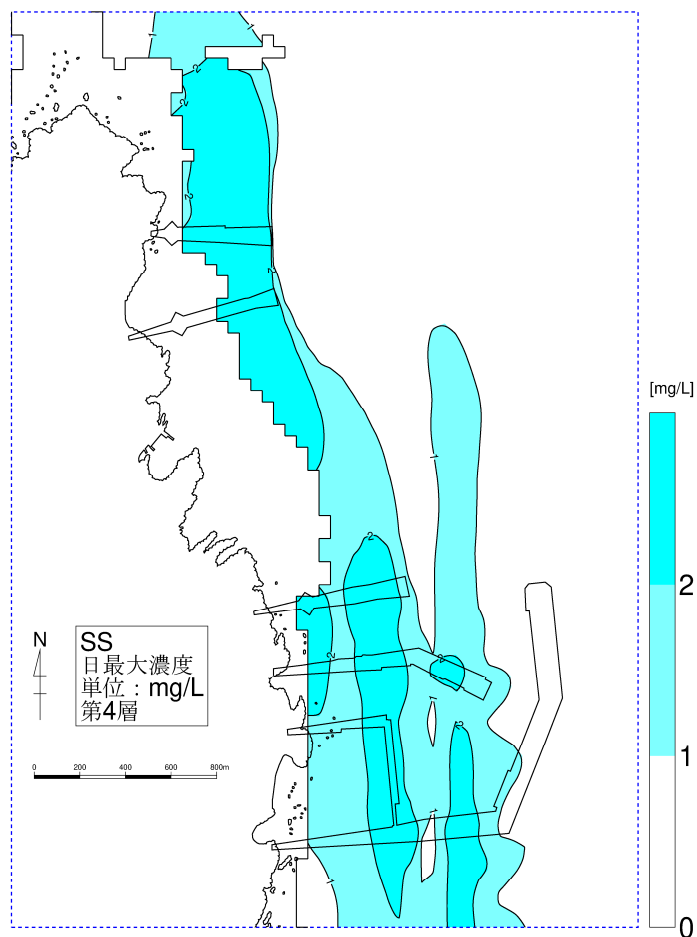
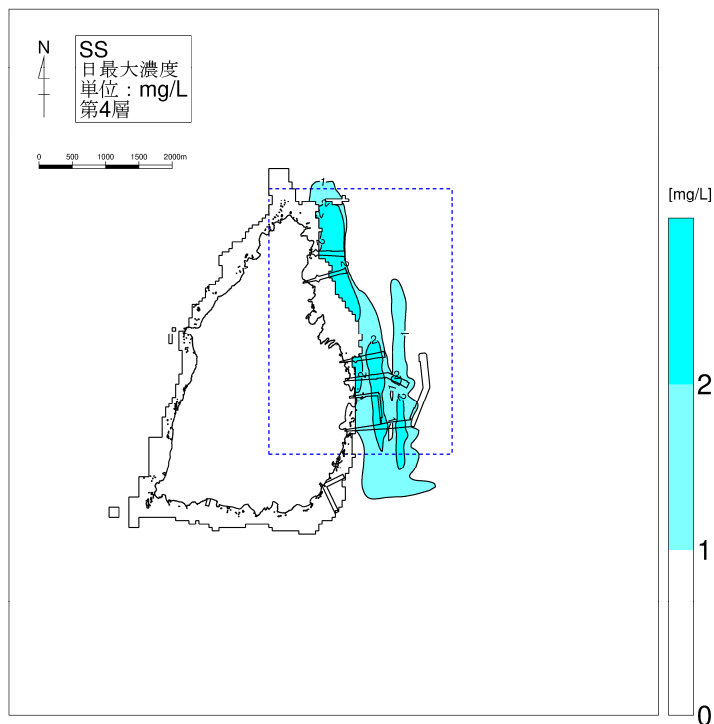
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(2) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第2層[2~4m])



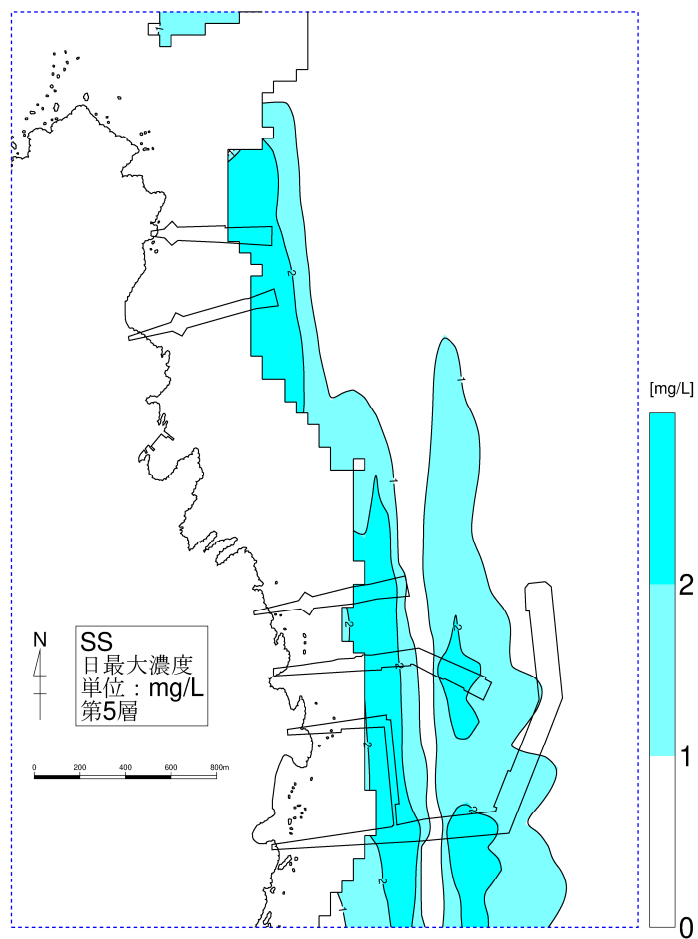
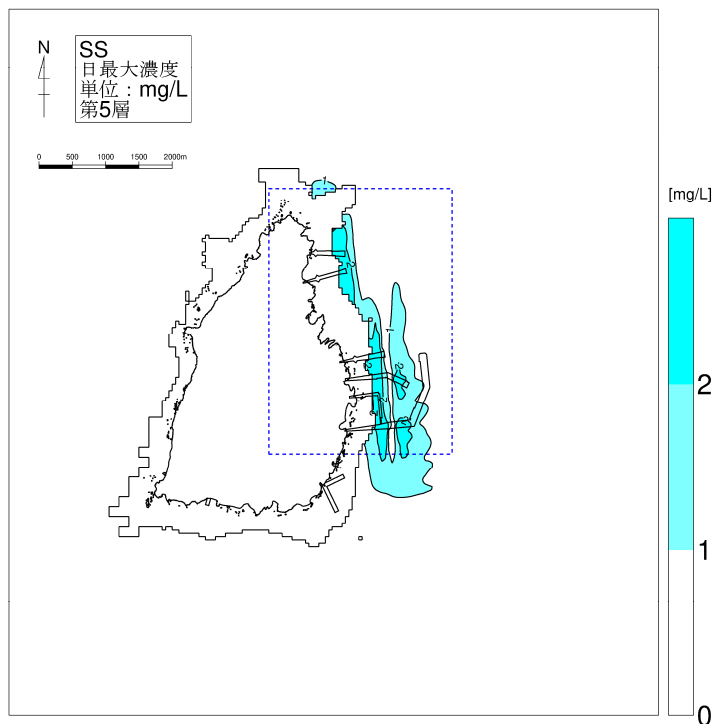
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(3) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第3層[4~7m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

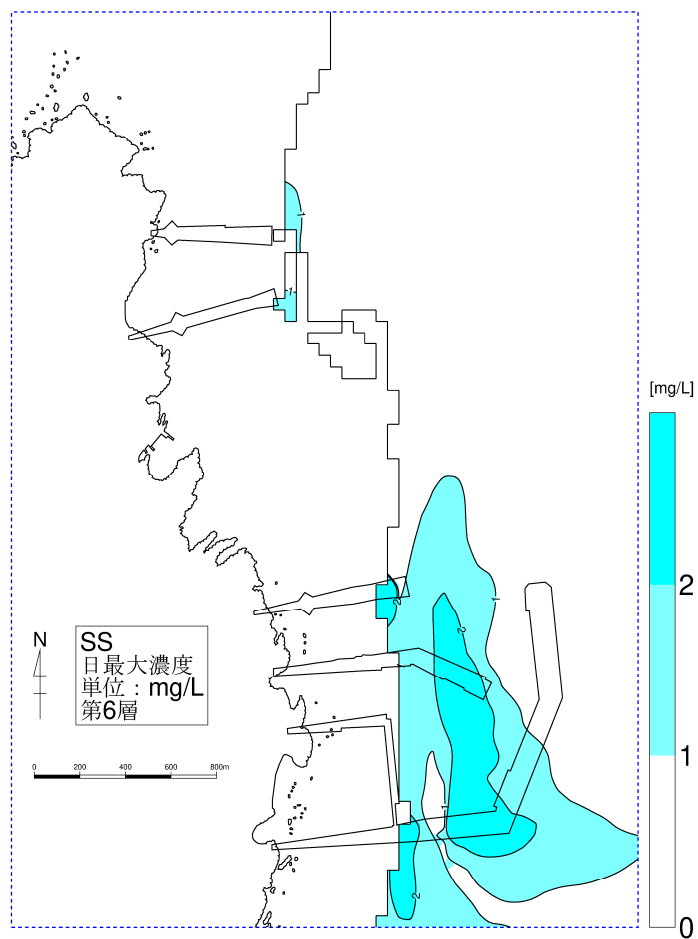
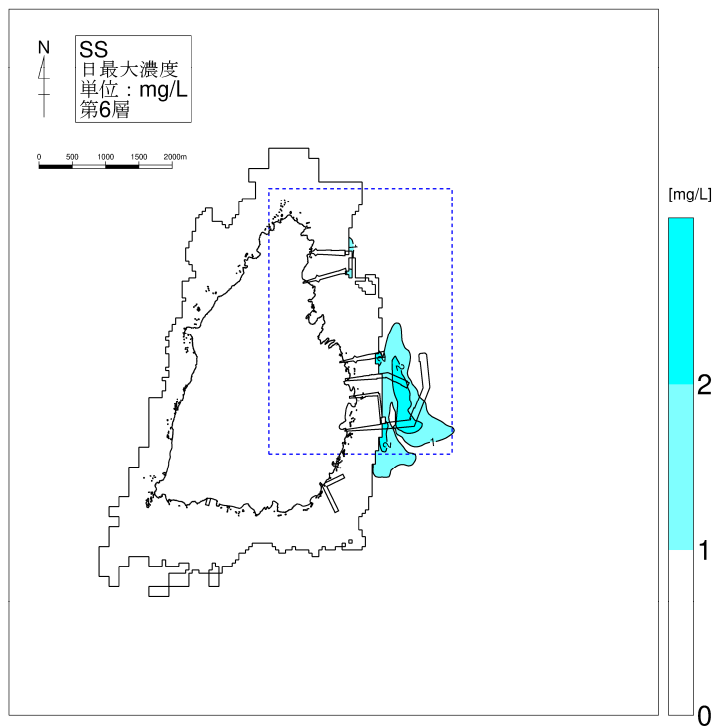
図-6.7.11(4) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第4層[7~10m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

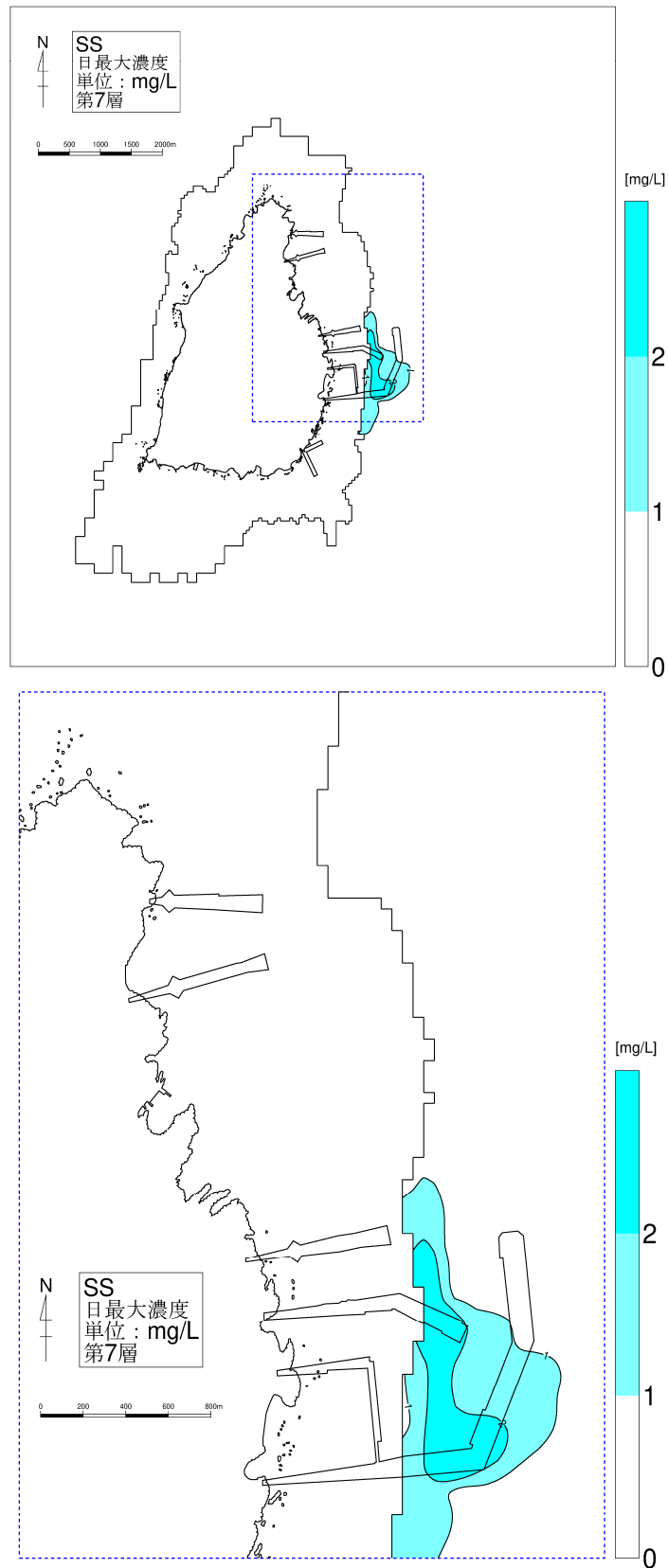
図-6.7.11(5) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第5層[10~15m])





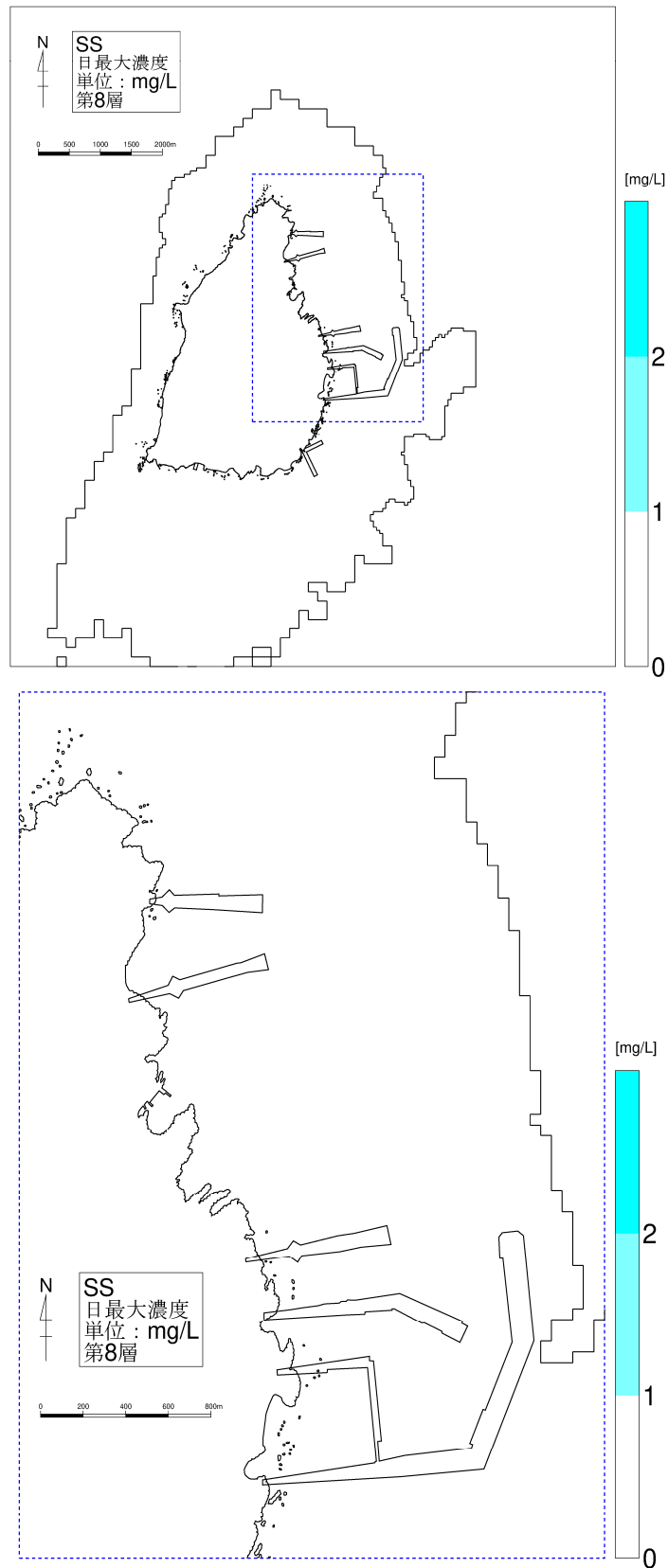
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(6) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第6層[15~20m])



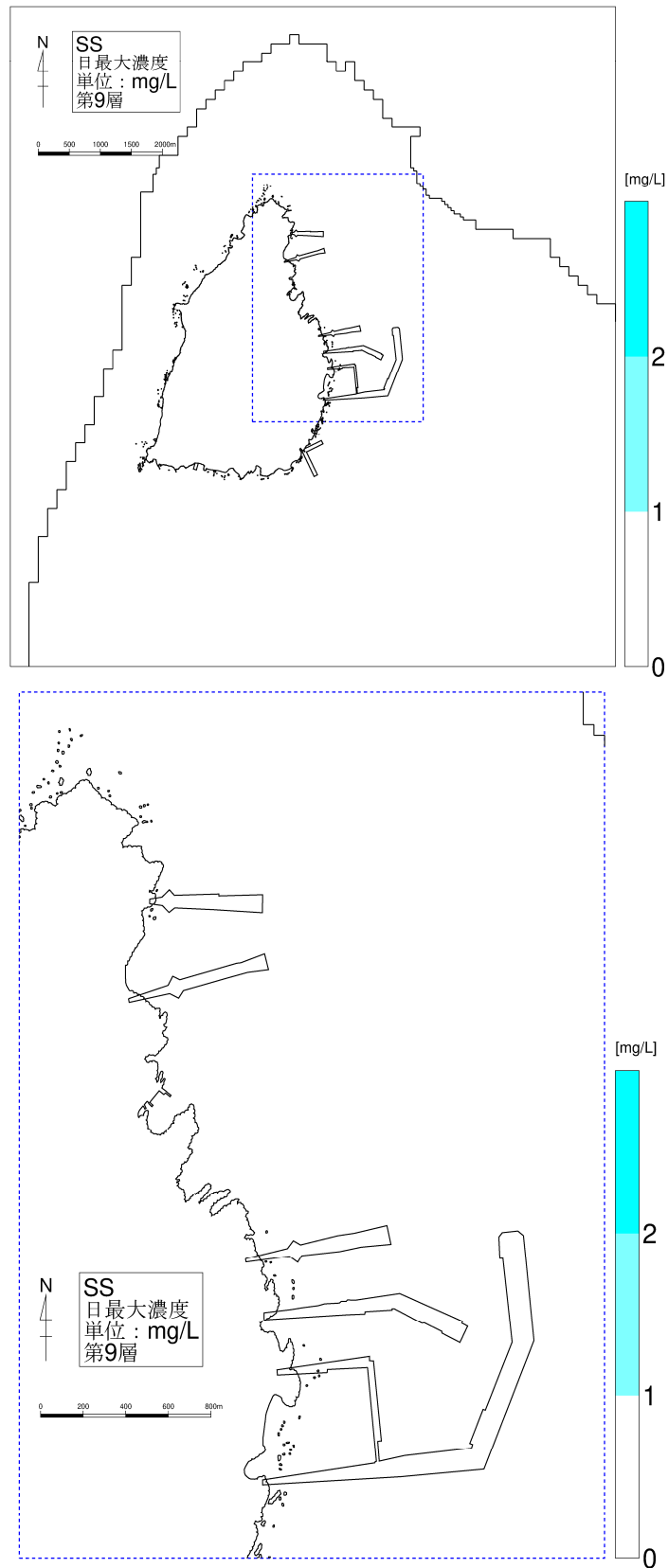
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(7) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第7層[20~30m])



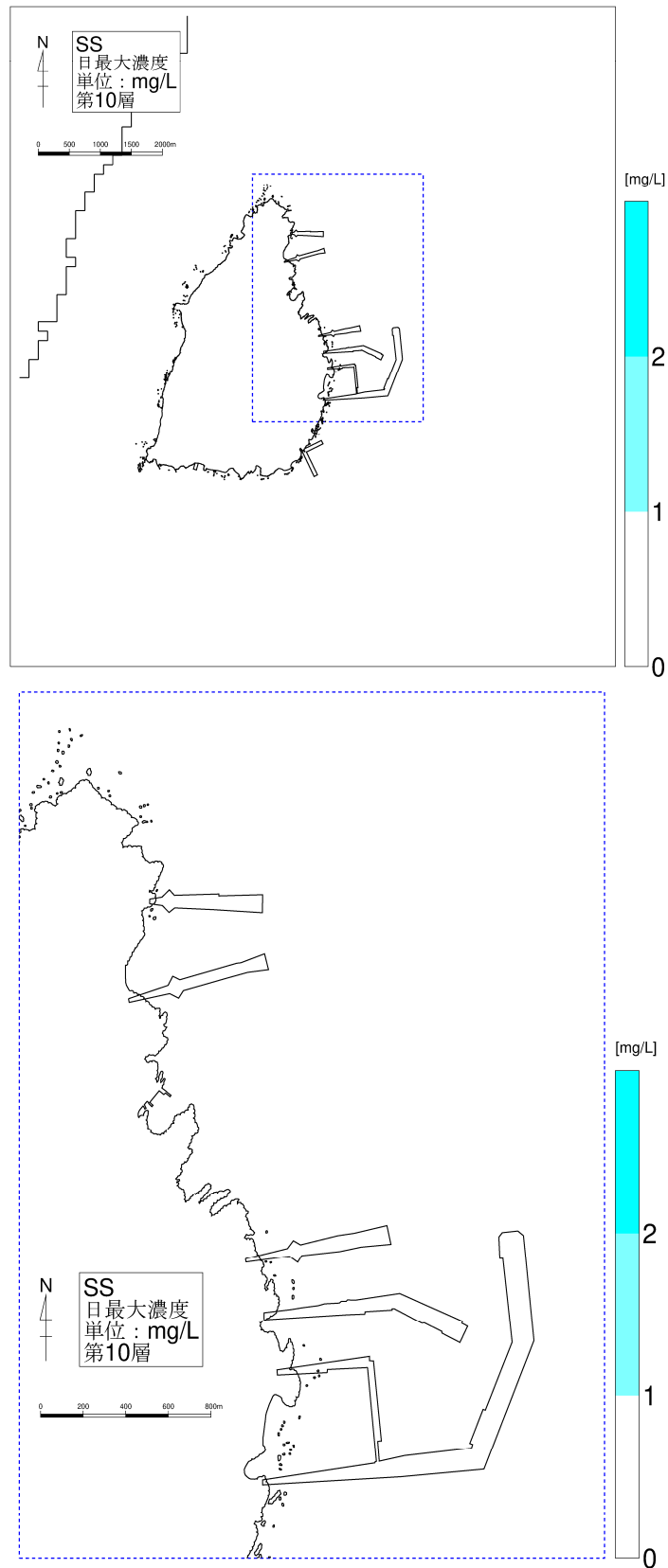
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(8) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第8層[30~50m])



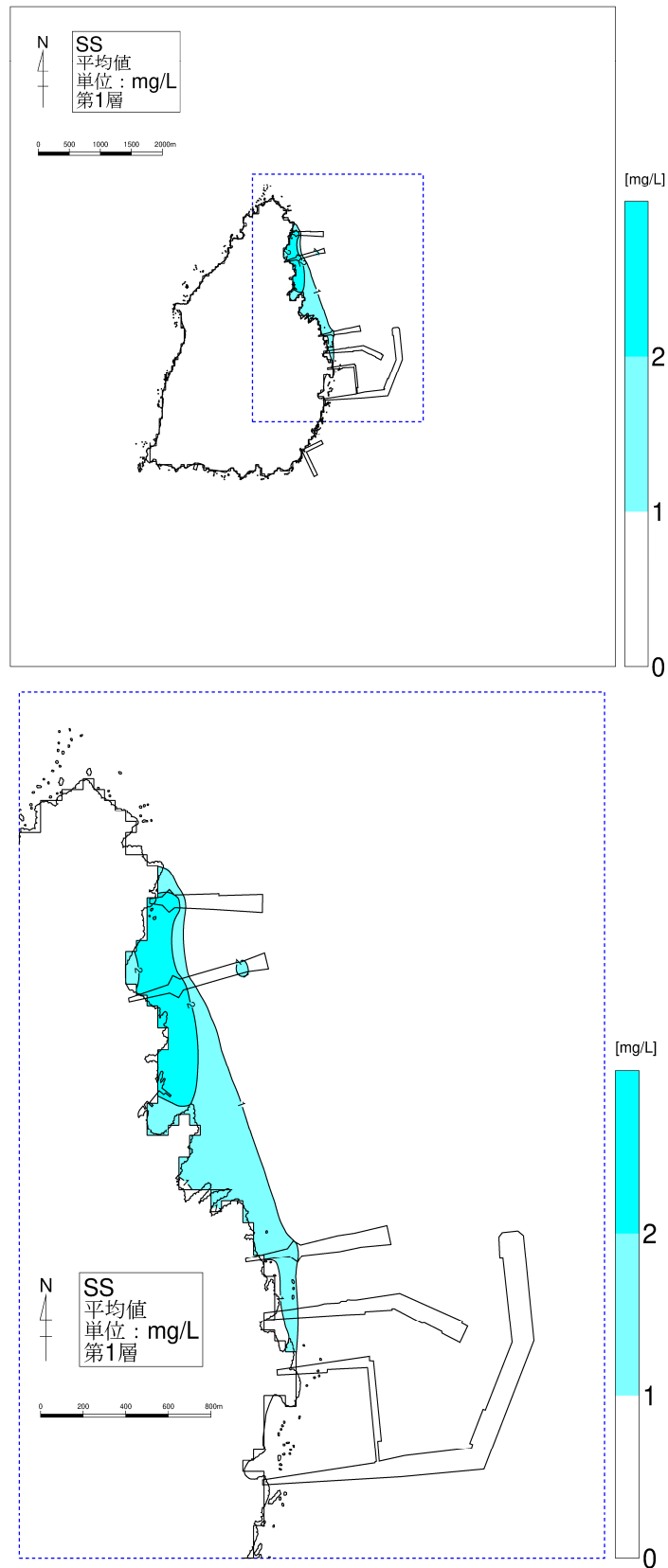
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(9) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第9層[50~100m])



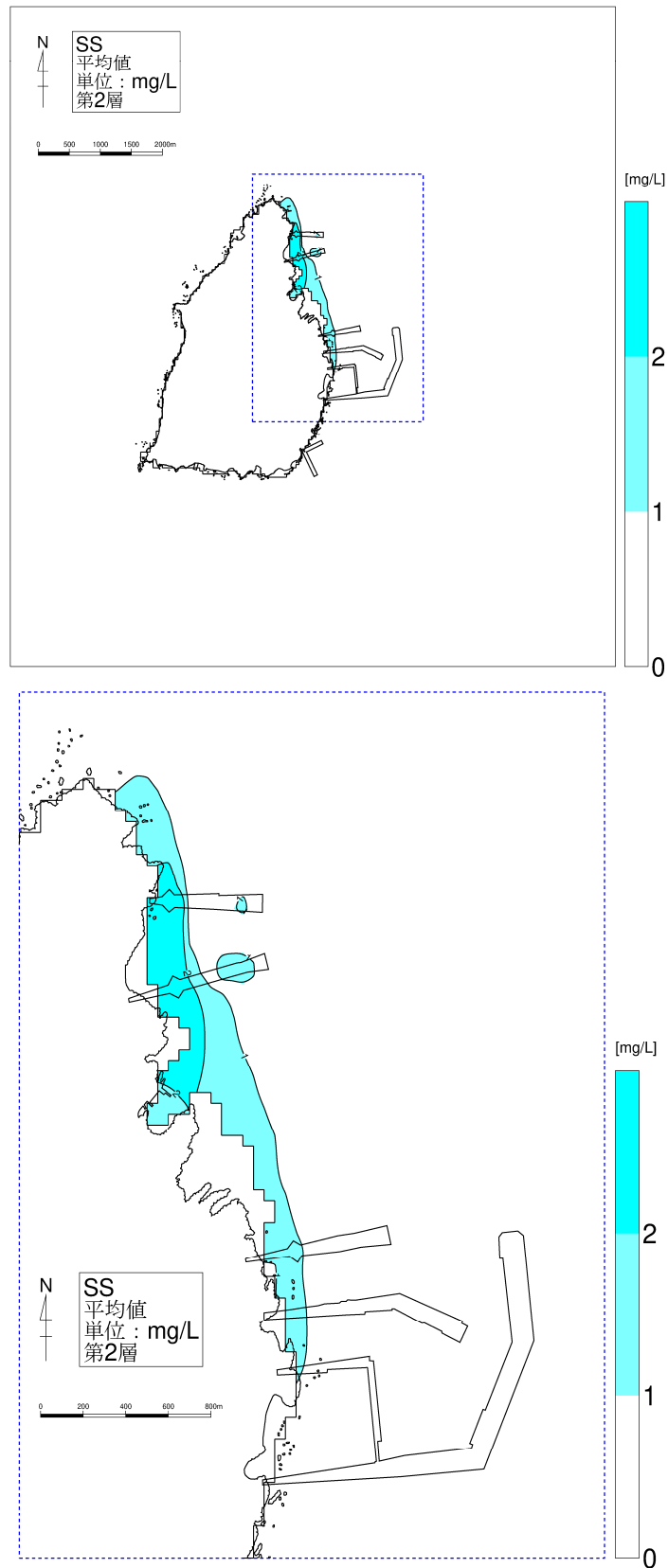
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.11(10) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日最大値、第10層[100m以深])



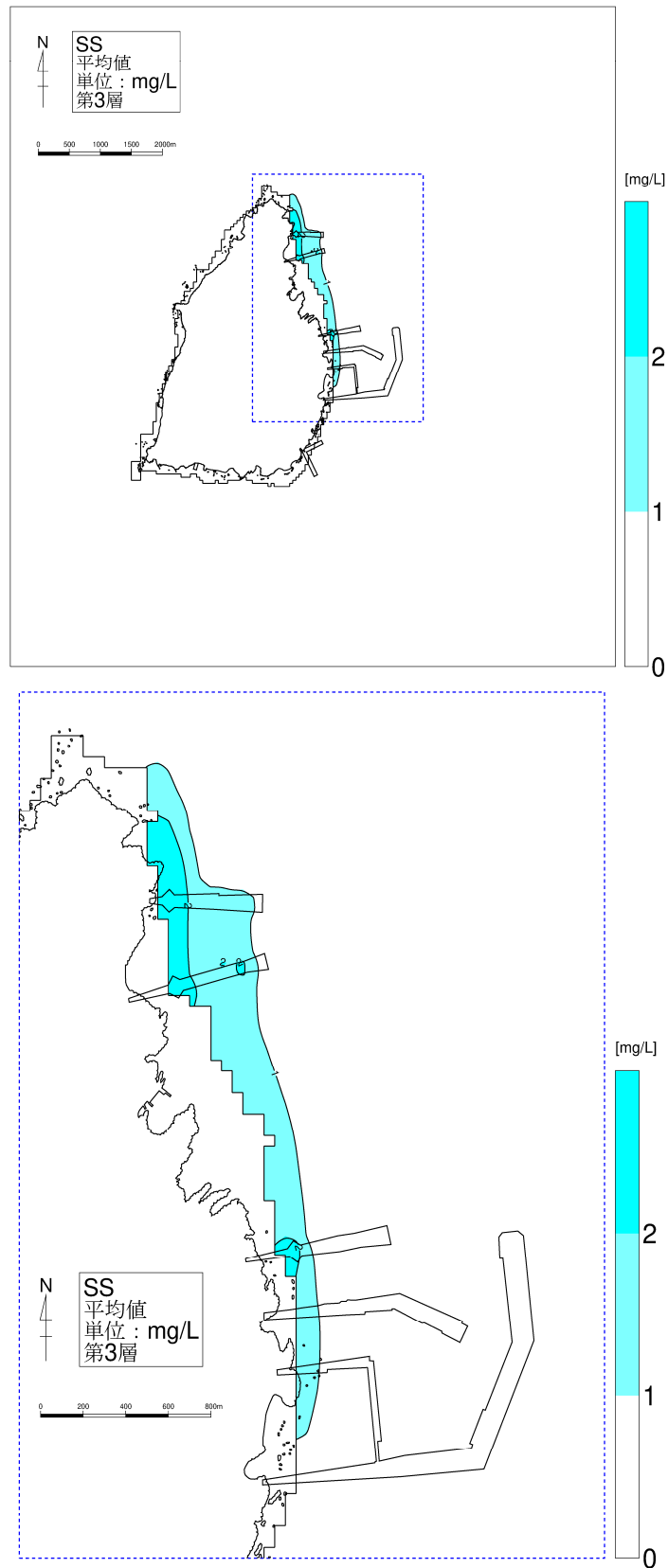
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(1) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第1層[0~2m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

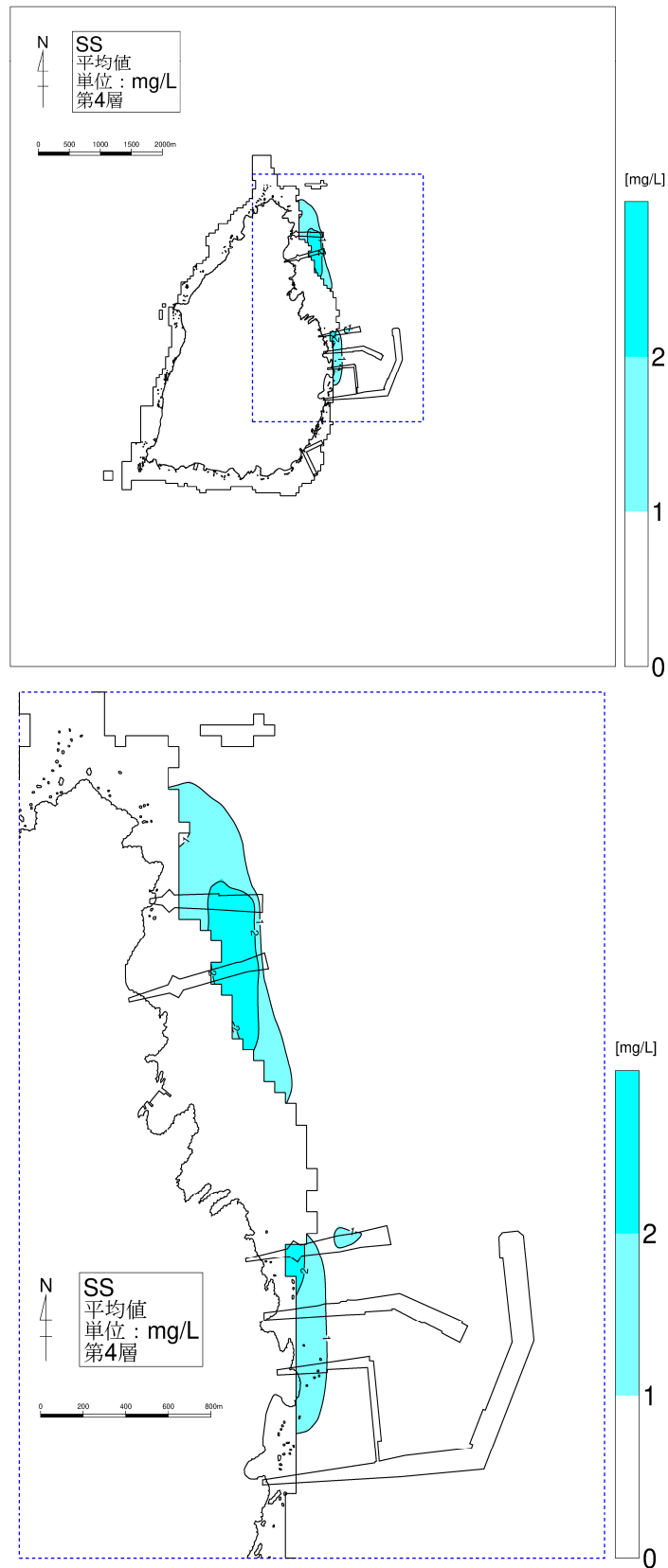
図-6.7.12(2) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第2層[2~4m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

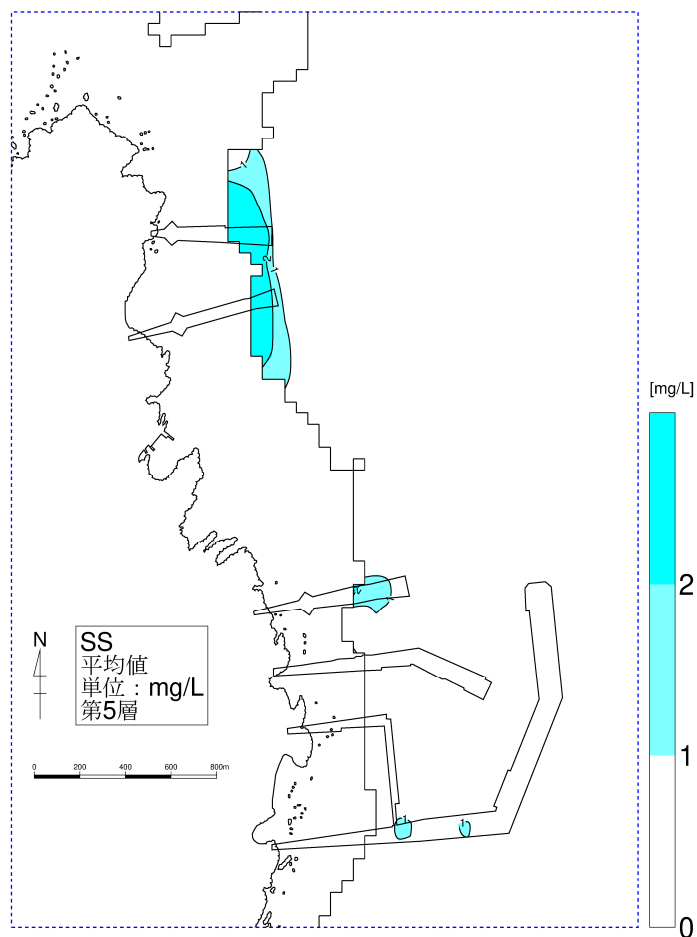
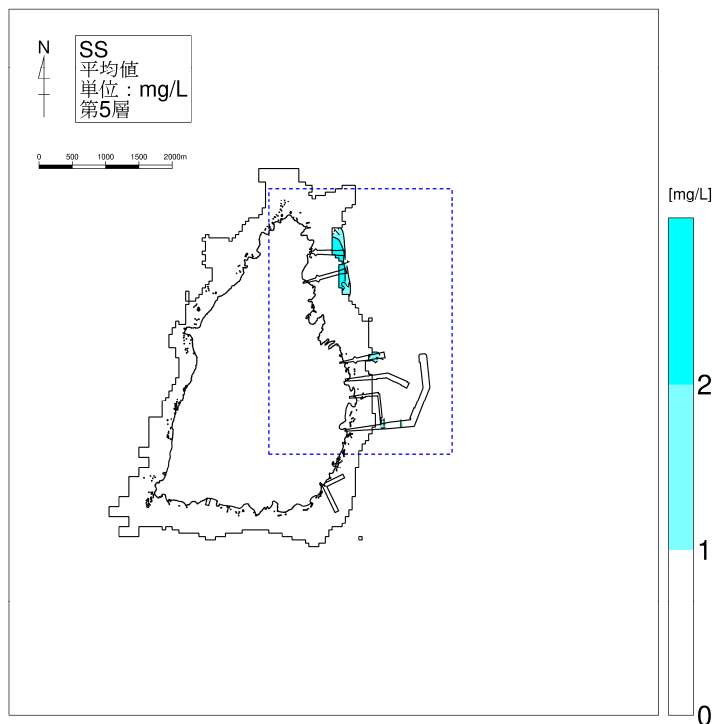
図-6.7.12(3) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均值、第3層[4~7m])





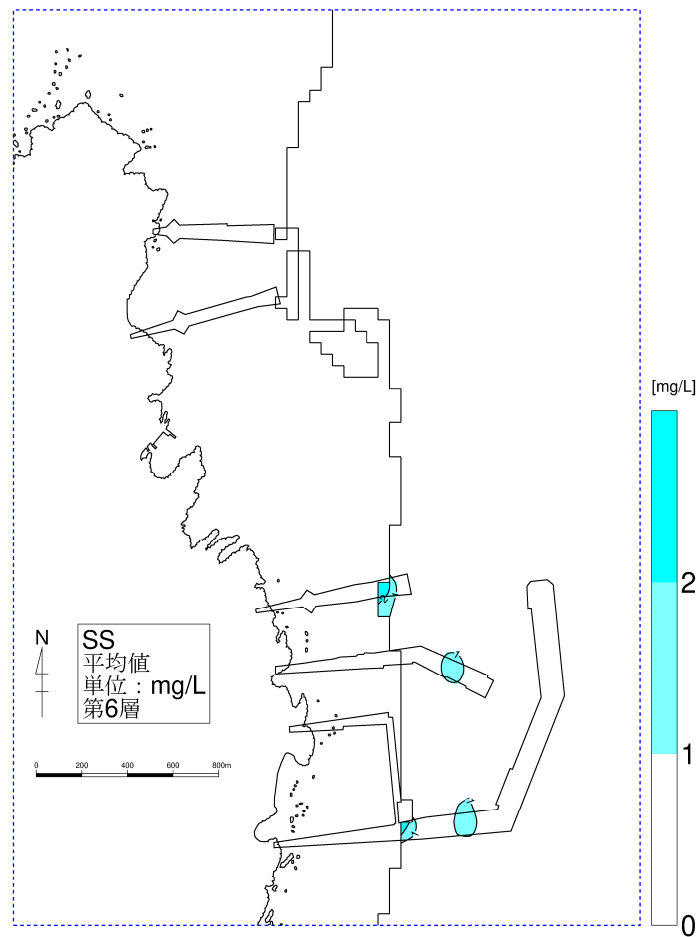
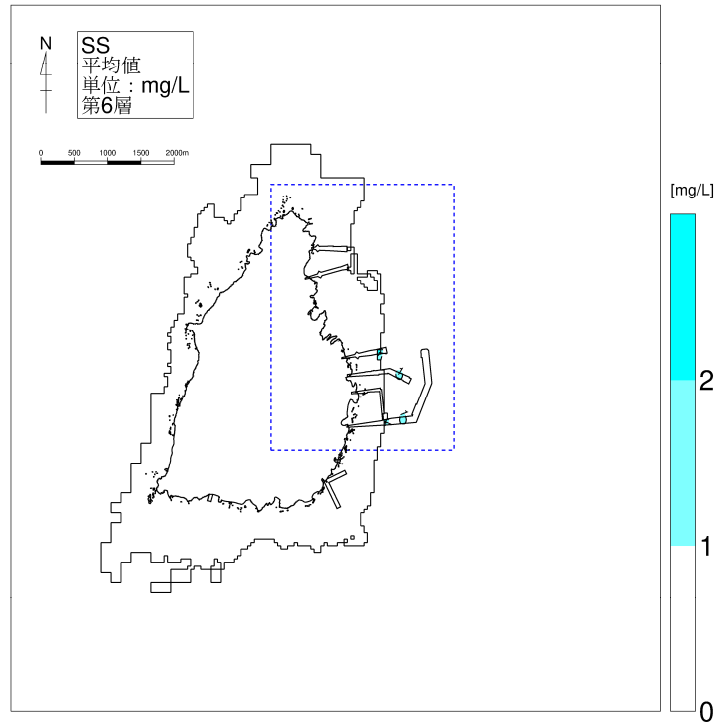
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(4) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第4層[7~10m])



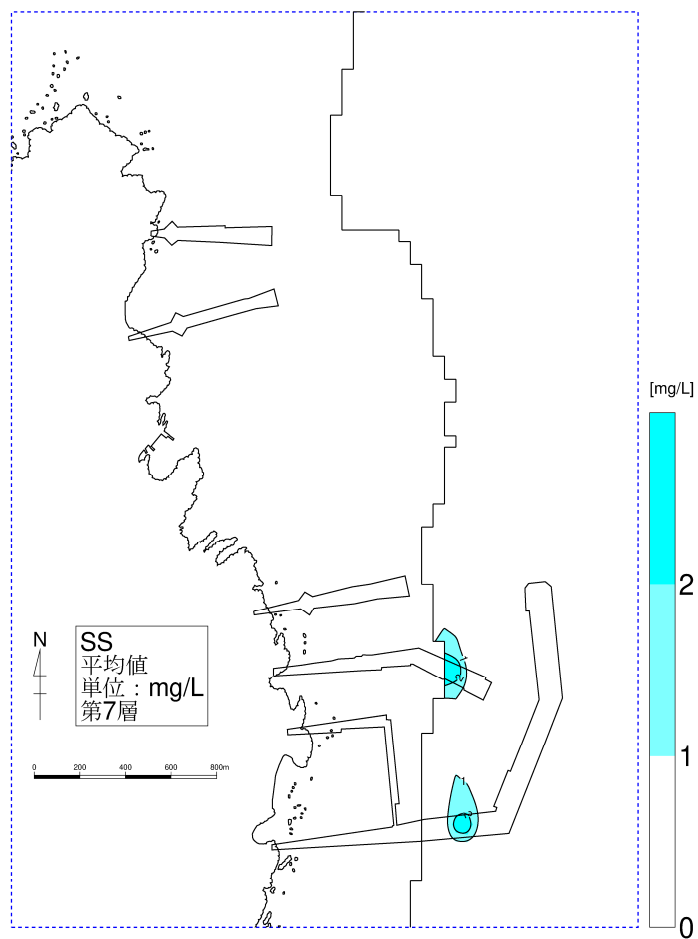
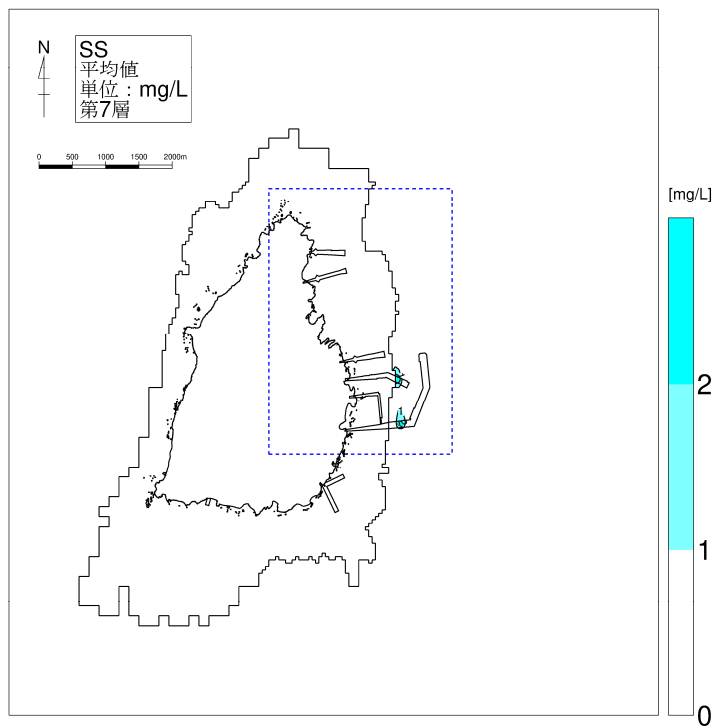
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(5) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第5層[10~15m])



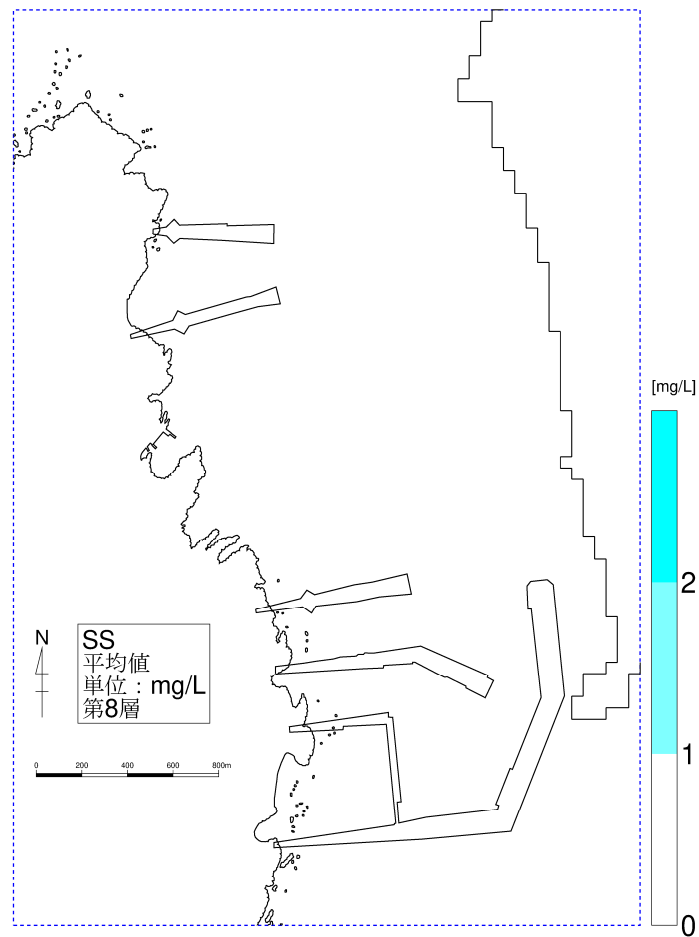
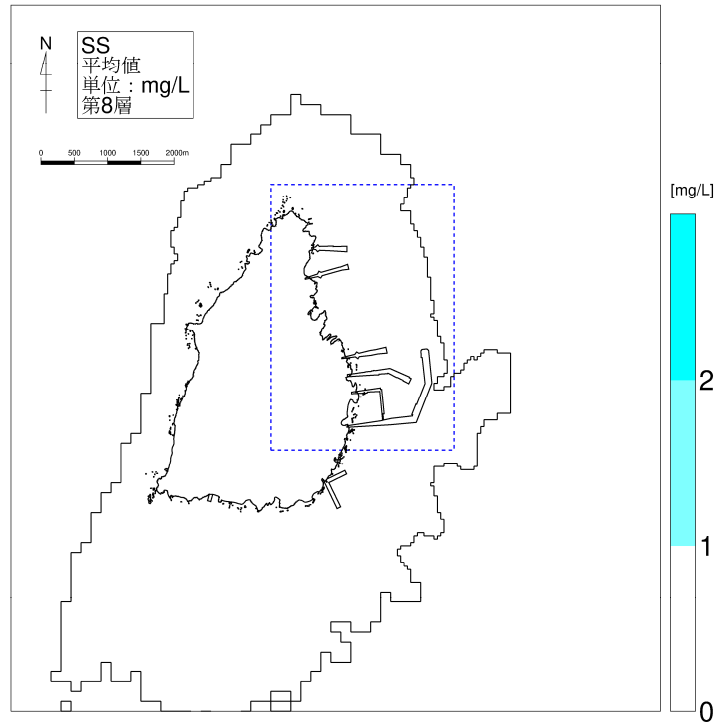
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(6) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第6層[15~20m])



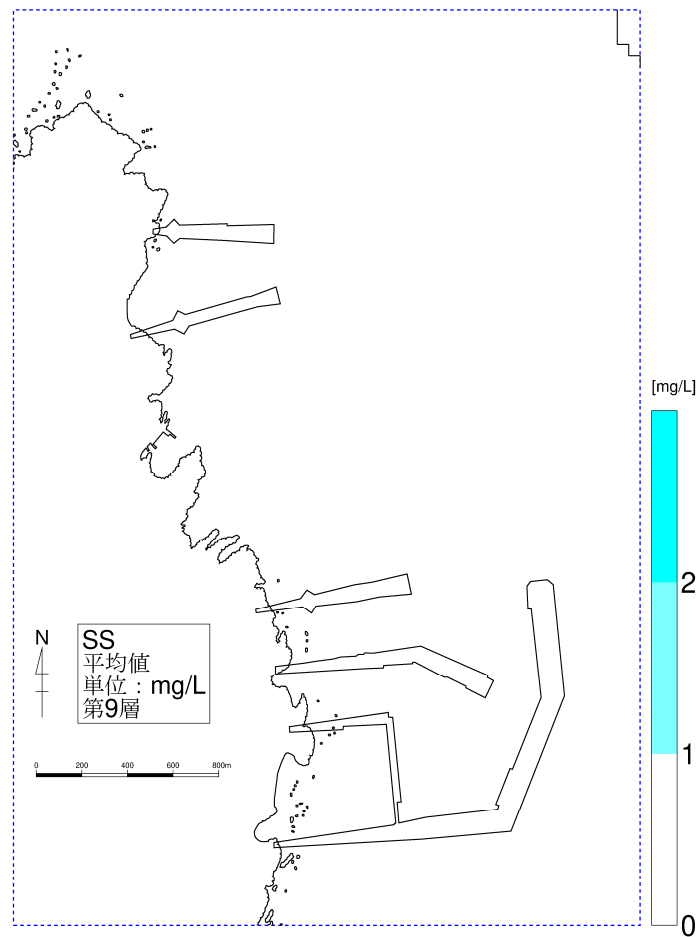
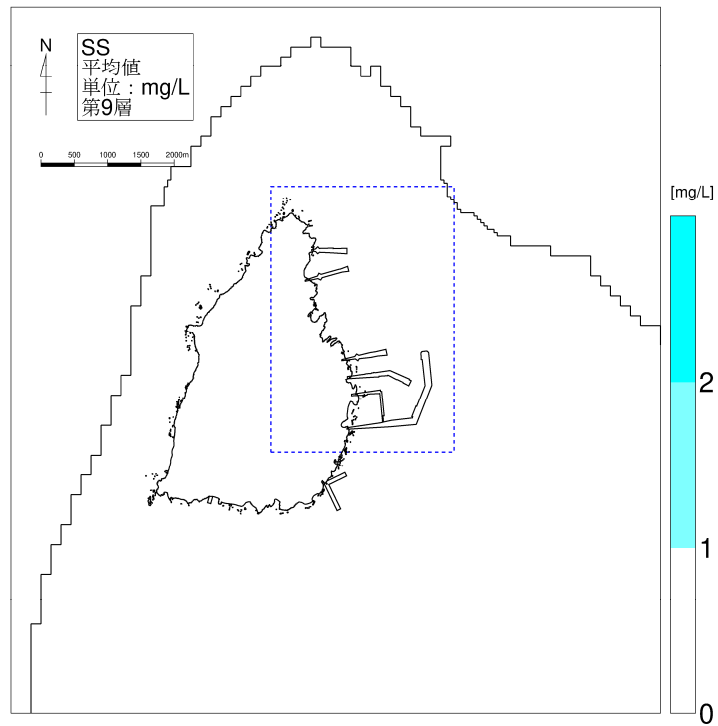
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(7) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第7層[20~30m])



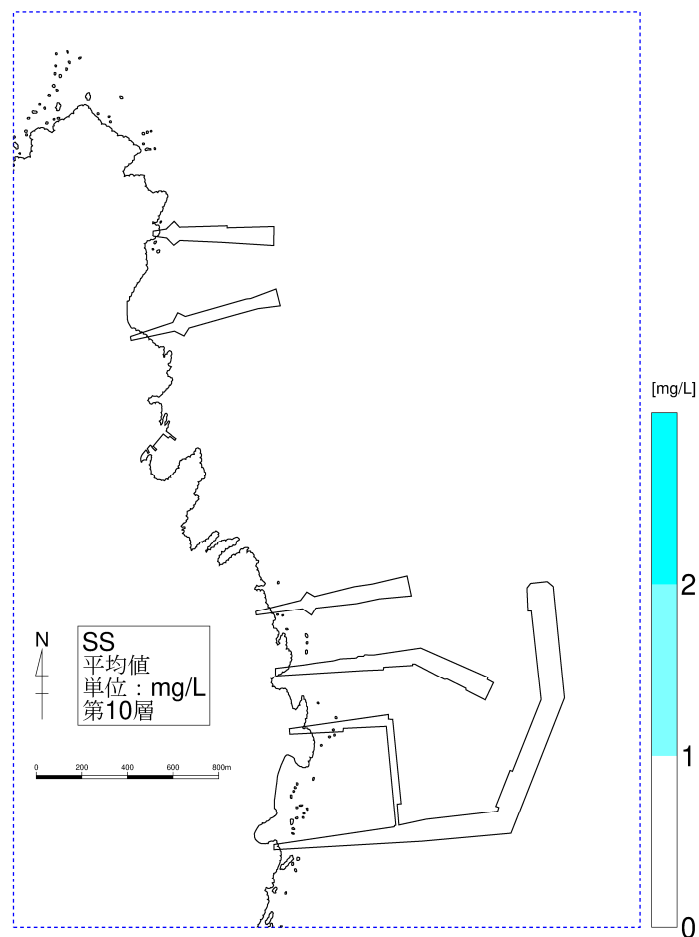
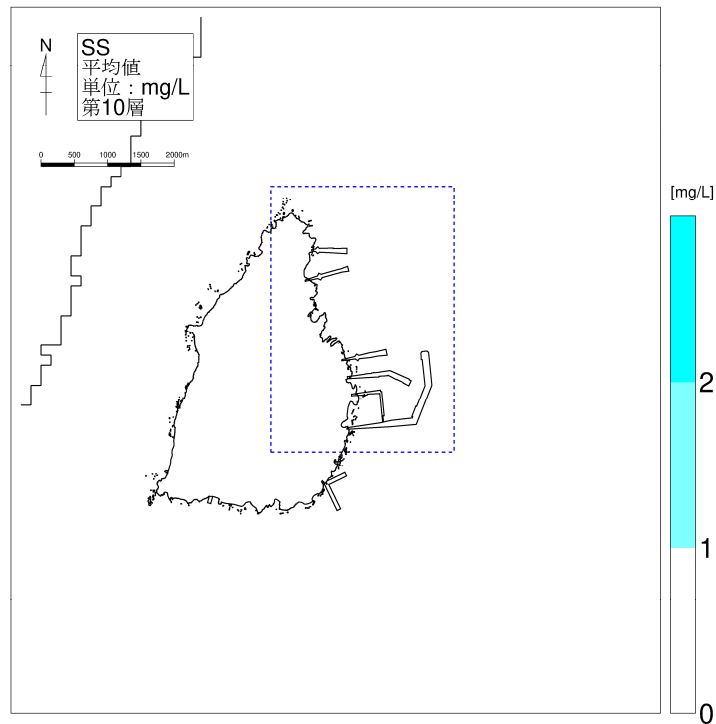
注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヵ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(8) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第8層[30~50m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(9) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第9層[50~100m])



注) 図中の係留施設と仮設栈橋は、海上工事に伴う濁り負荷の発生位置との対応関係を分かり易くするために示したものであり、1年次1ヶ月目時点の施工の進捗状況を示すものではありません。

図-6.7.12(10) 工事中のSS予測結果  
(1年次1ヶ月目、冬季、日平均値、第10層[100m以深])

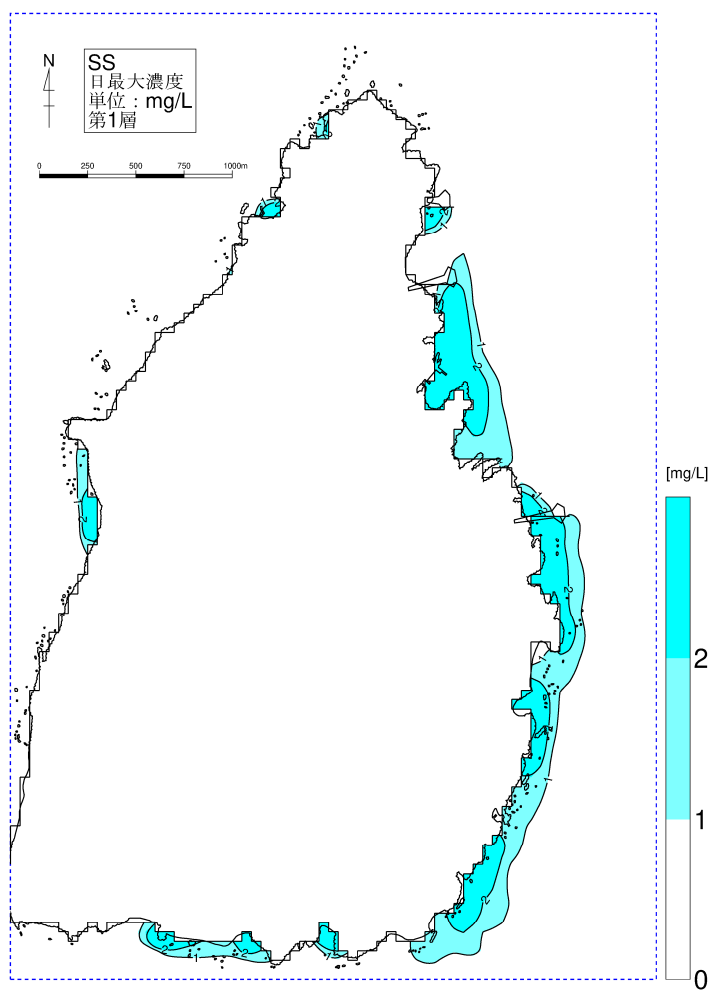
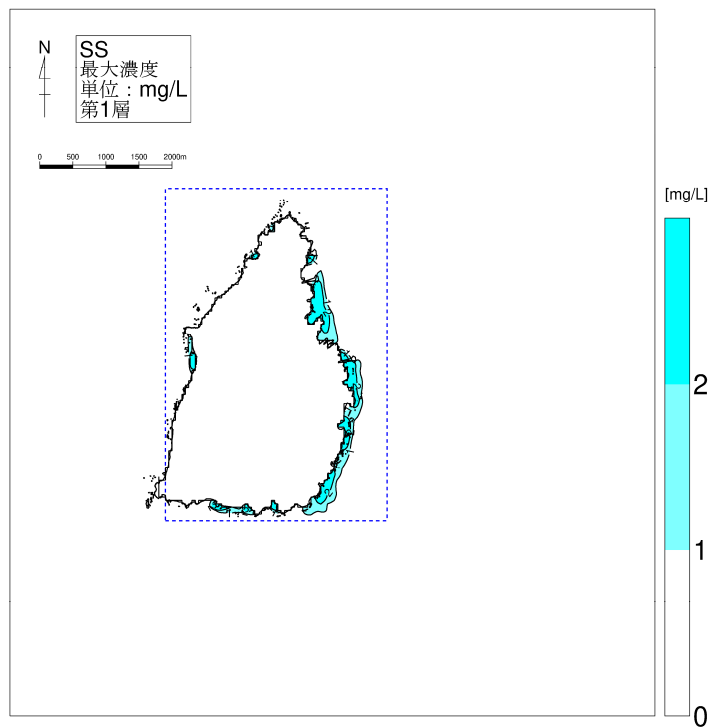


図-6.7.13(1) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第1層[0~2m])



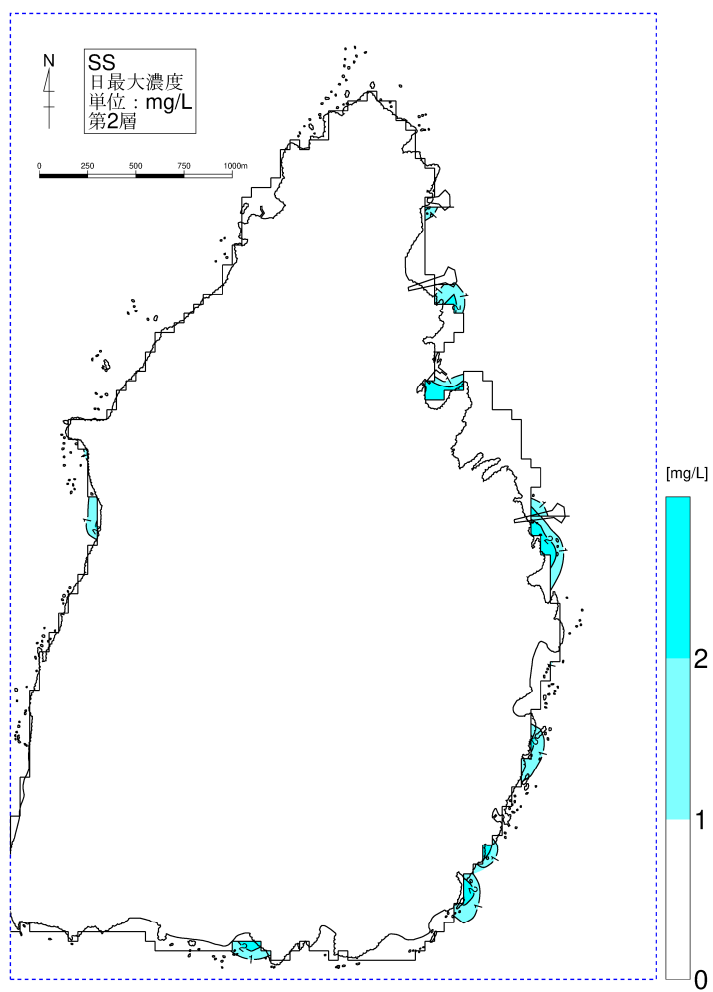
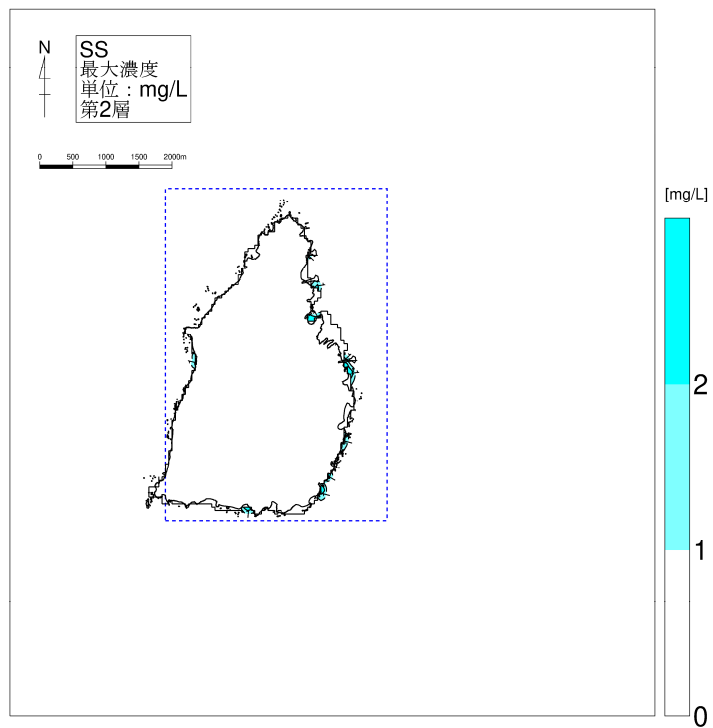


図-6.7.13(2) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第2層[2~4m])

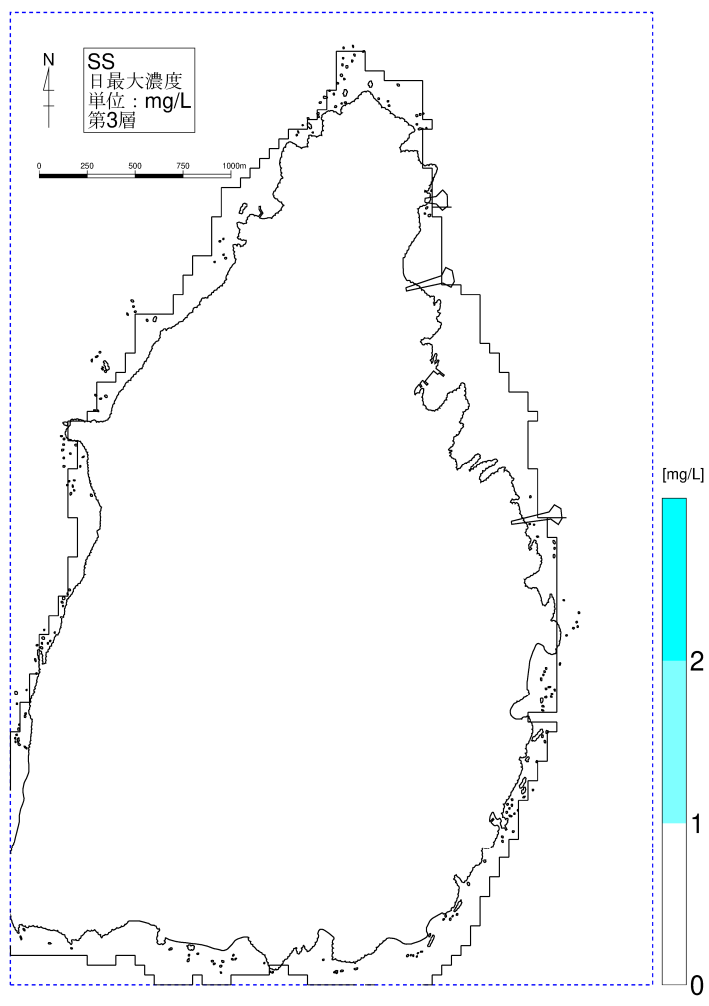
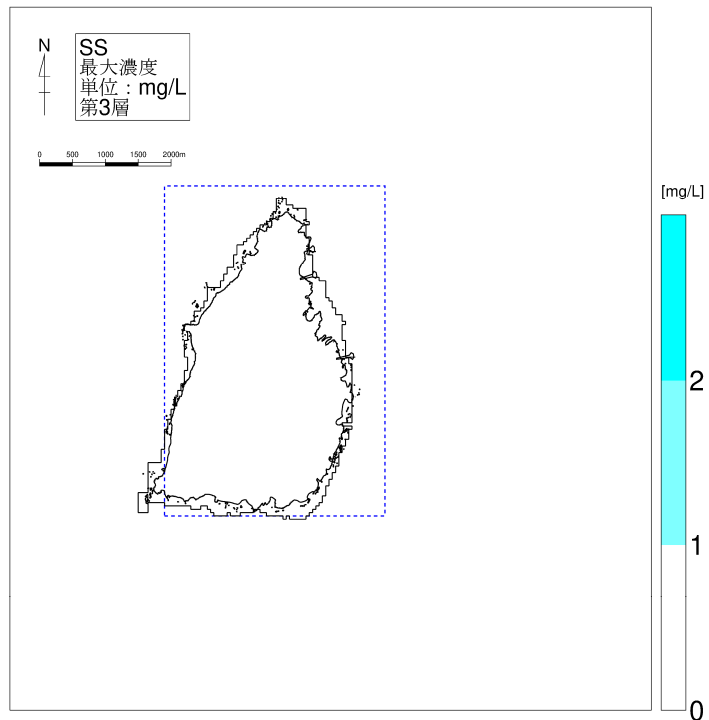


図-6.7.13(3) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第3層[4~7m])

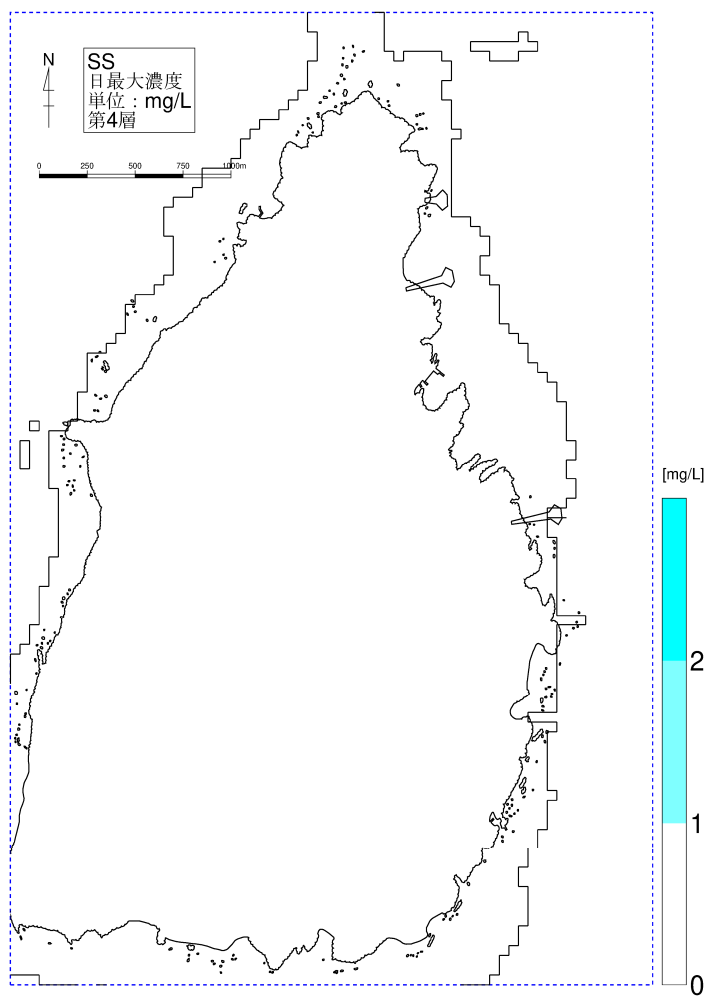
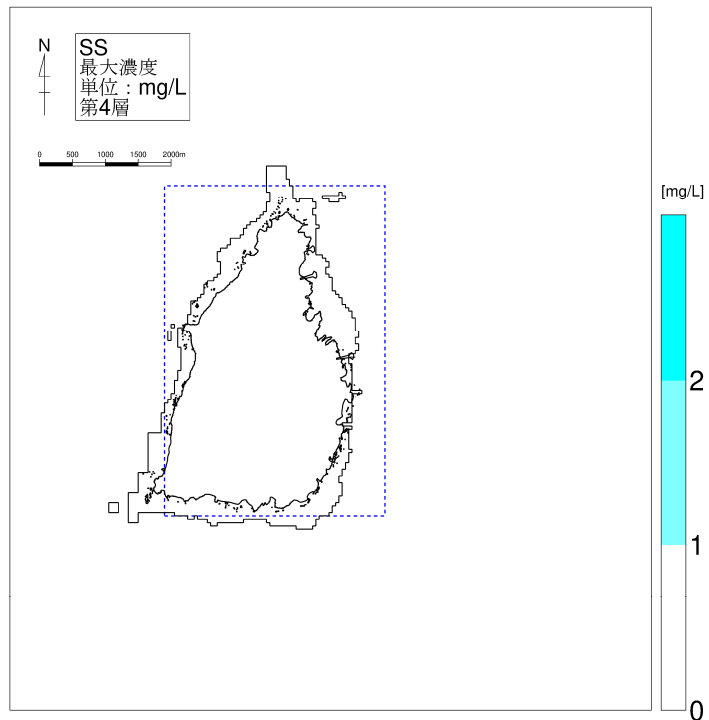


図-6.7.13(4) 降雨時のSS予測結果  
 (1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第4層[7~10m])

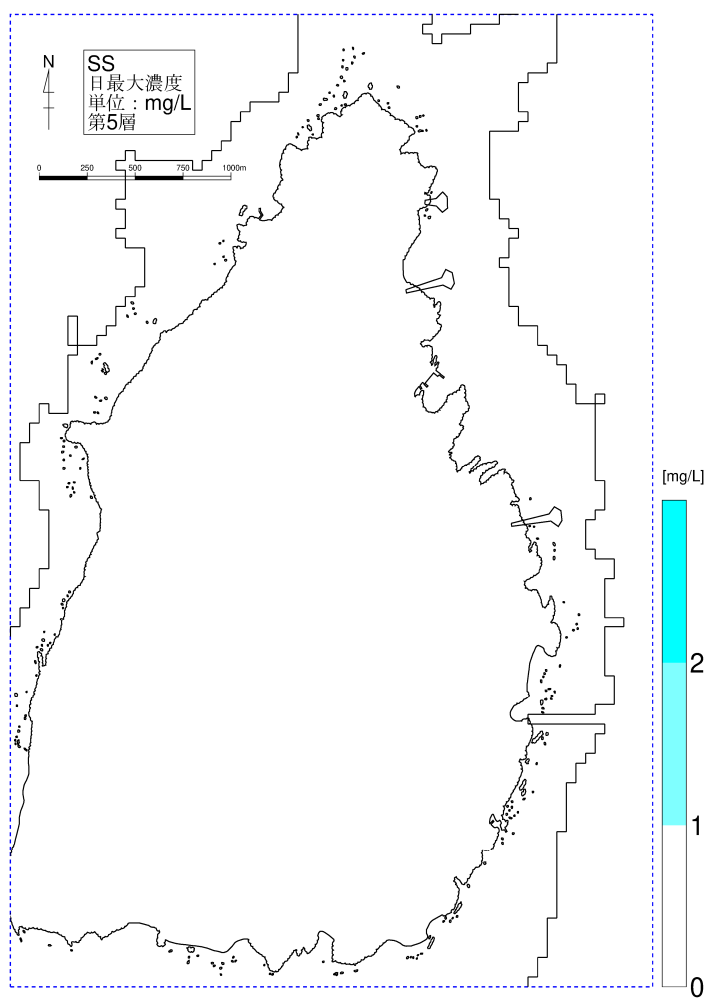
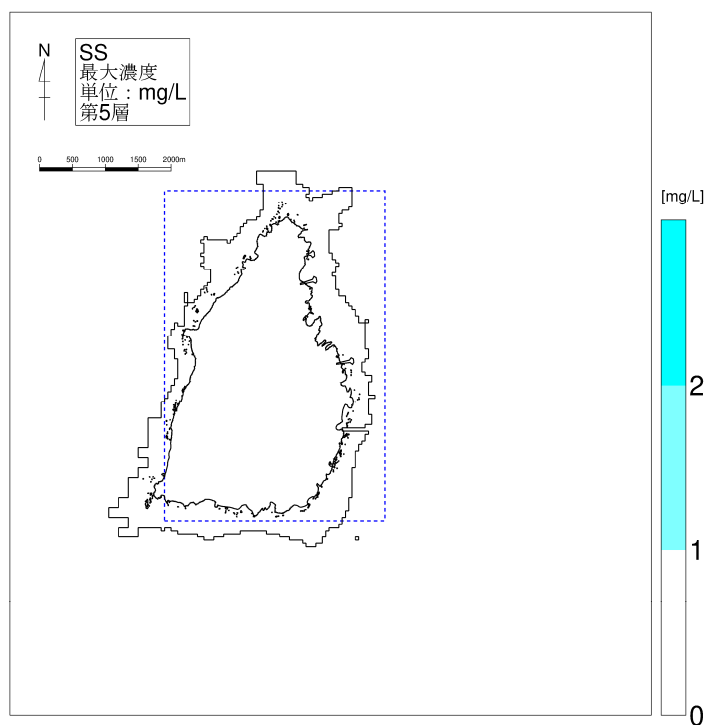


図-6.7.13(5) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第5層[10~15m])

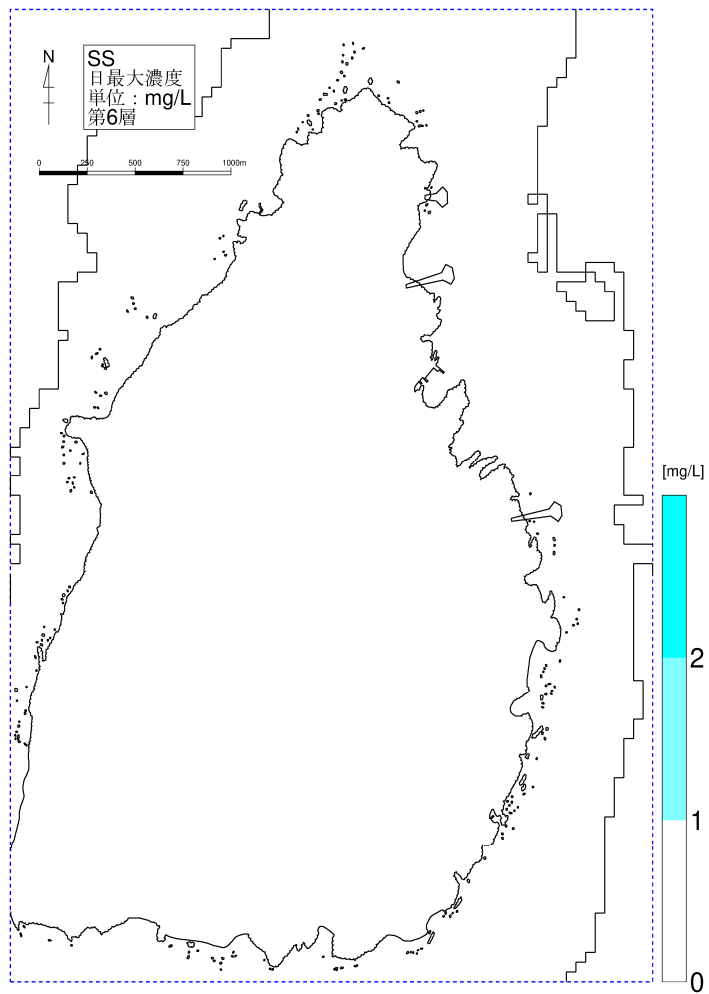
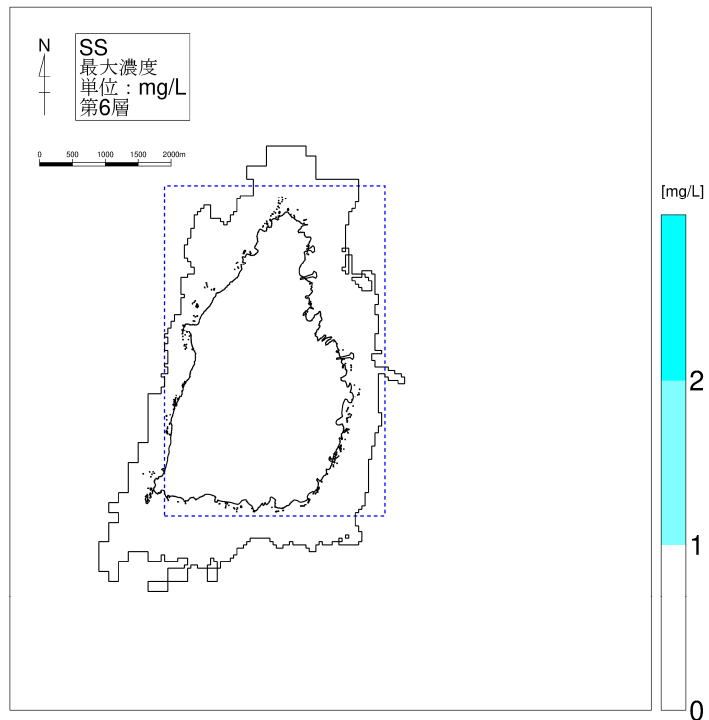


図-6.7.13(6) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第6層[15~20m])

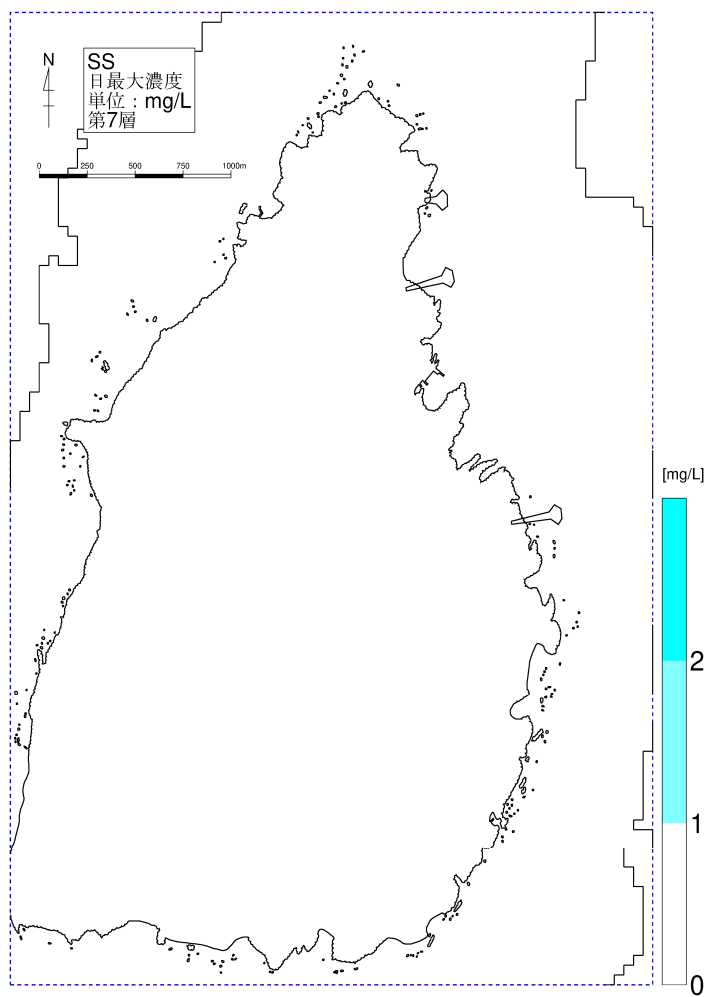
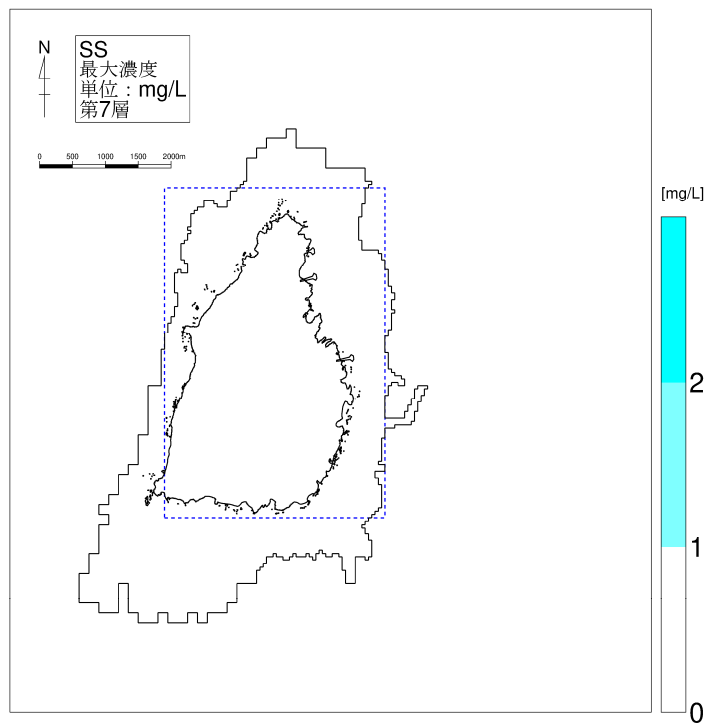


図-6.7.13(7) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第7層[20~30m])

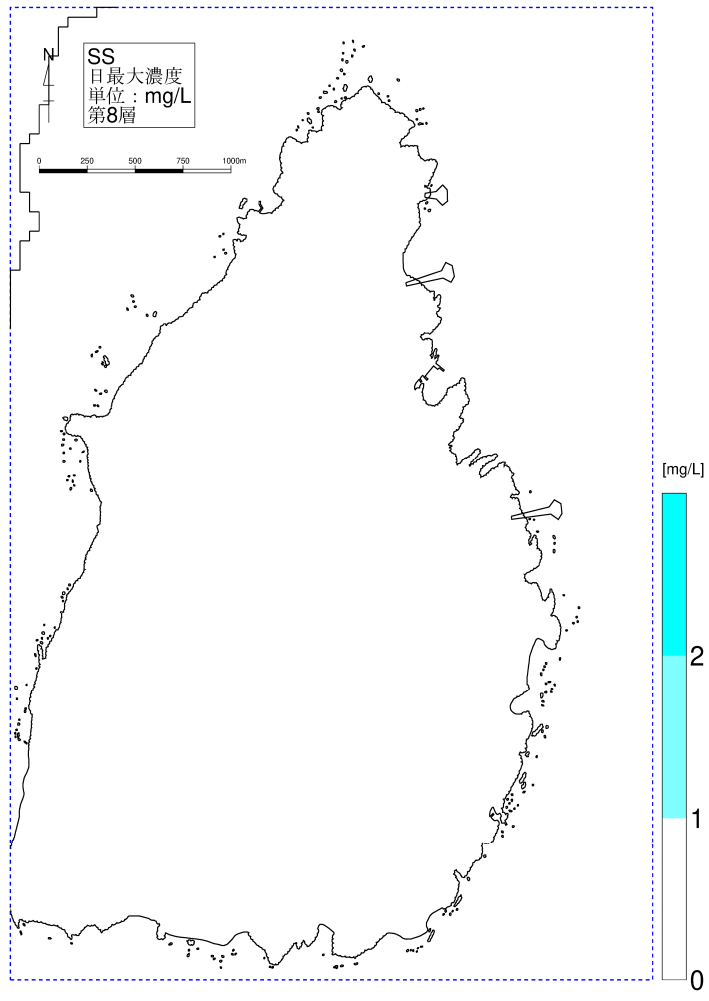
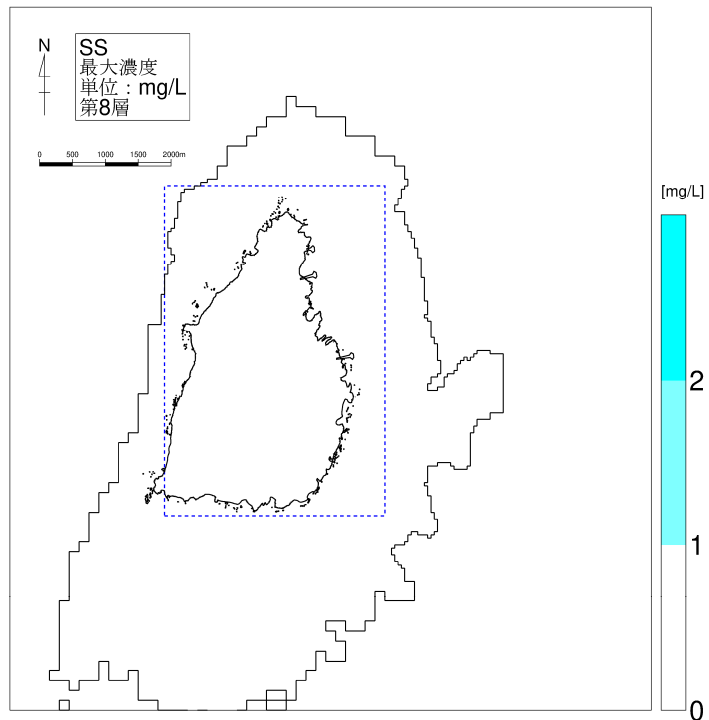


図-6.7.13(8) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第8層[30~50m])

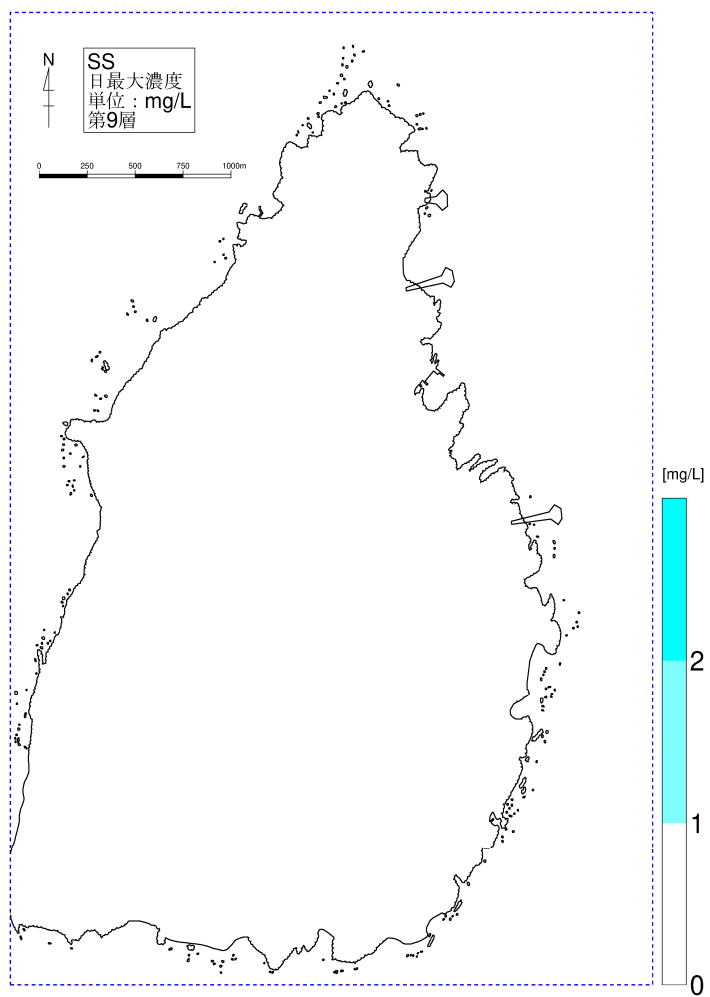
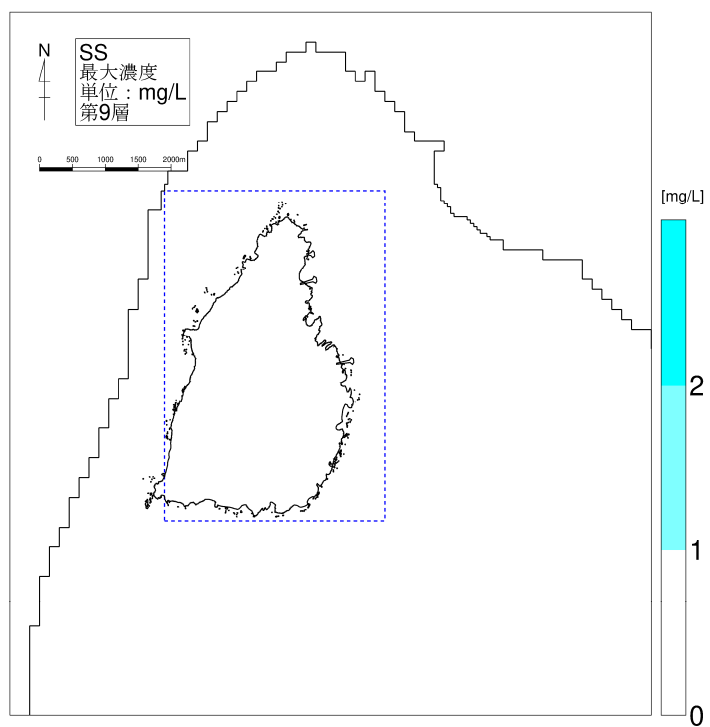


図-6.7.13(9) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第9層[50~100m])



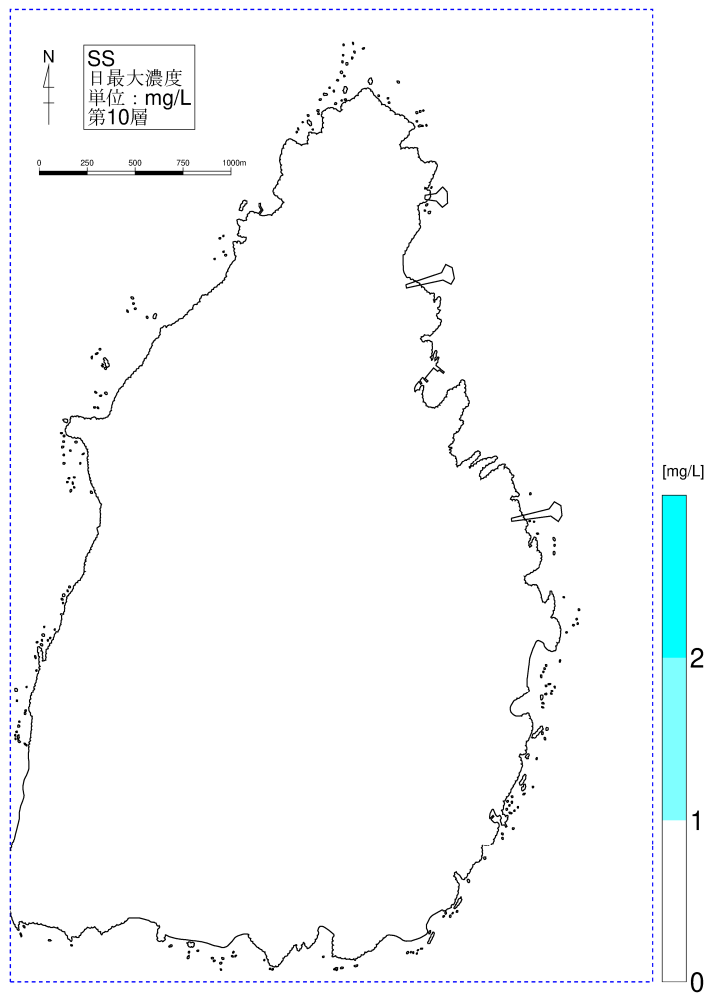
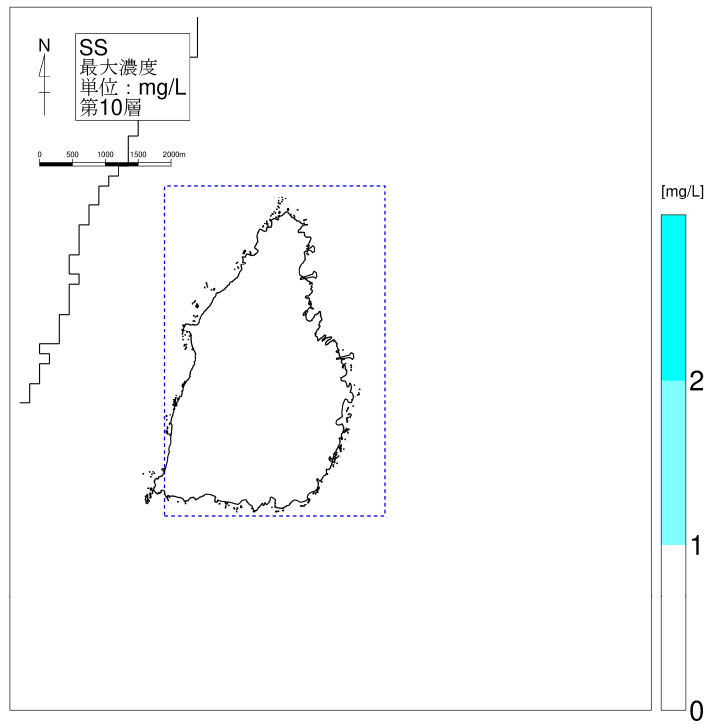


図-6.7.13(10) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、夏季、最大値、第10層[100m以深])

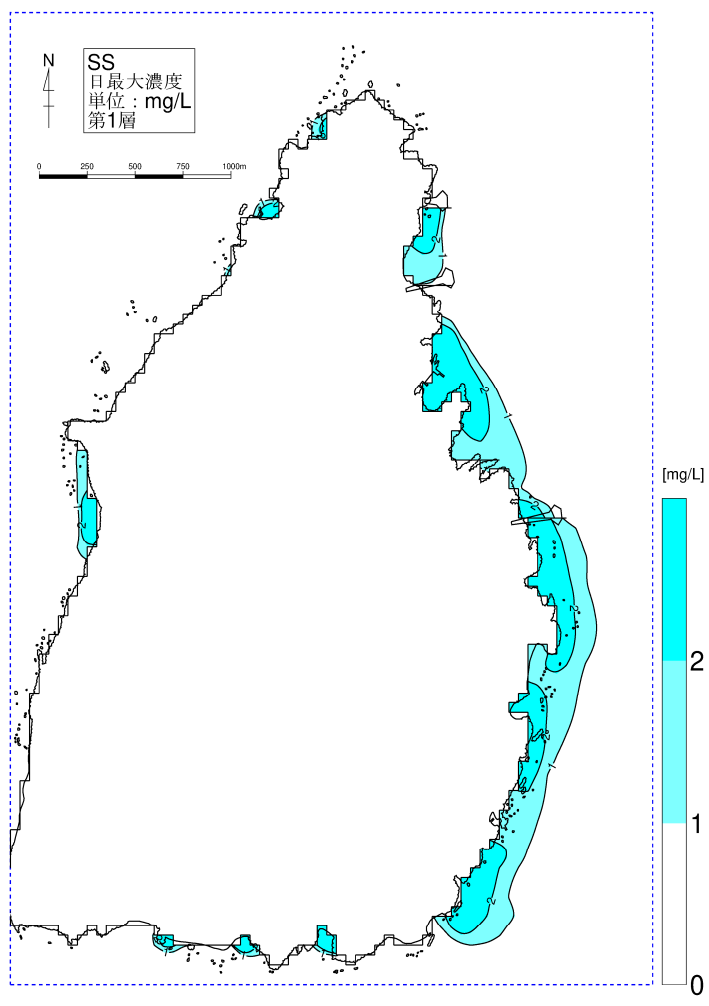
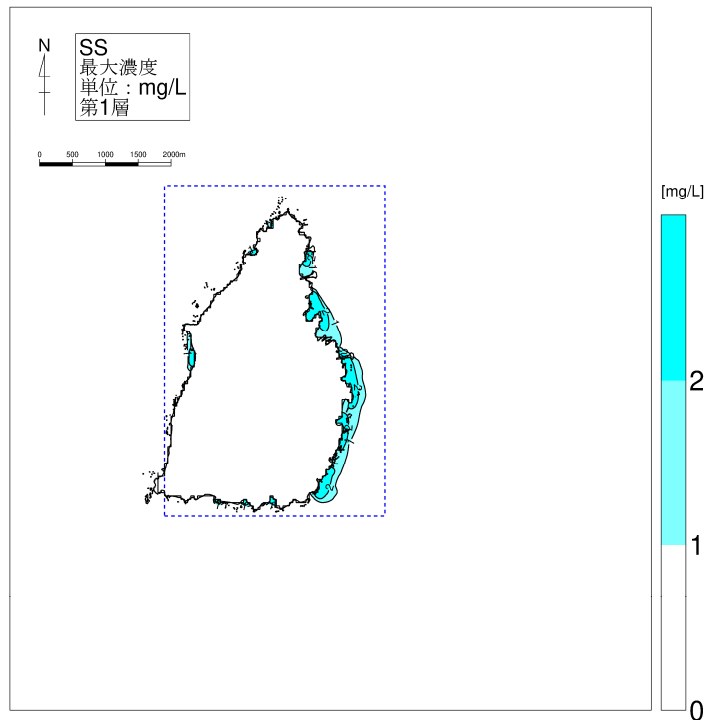


図-6.7.14(1) 降雨時のSS予測結果  
 (1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第1層[0~2m])

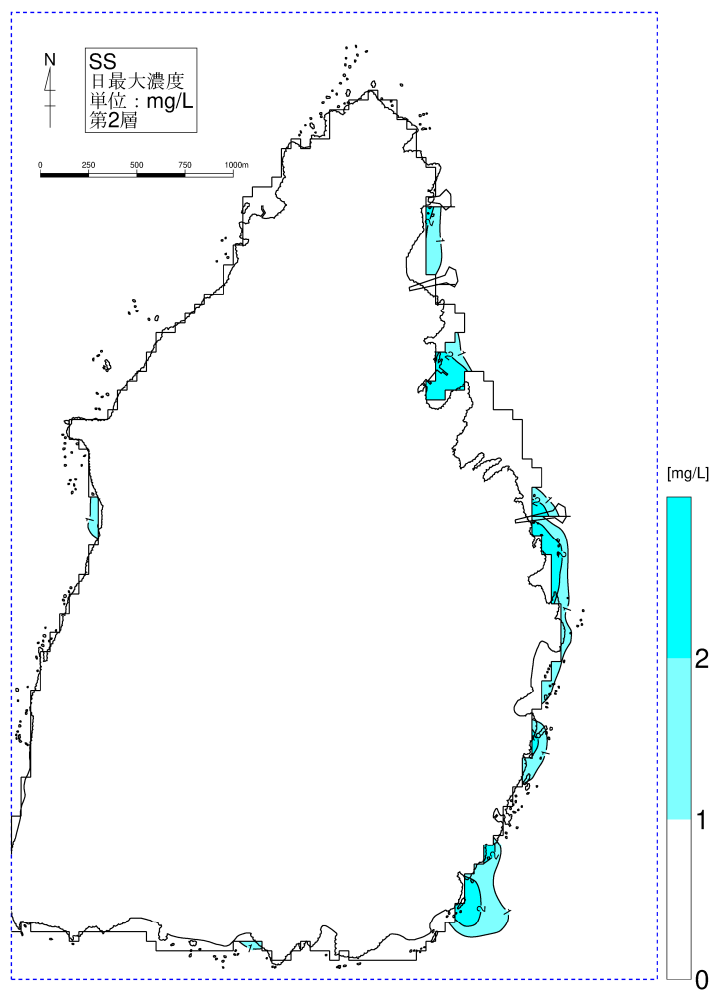
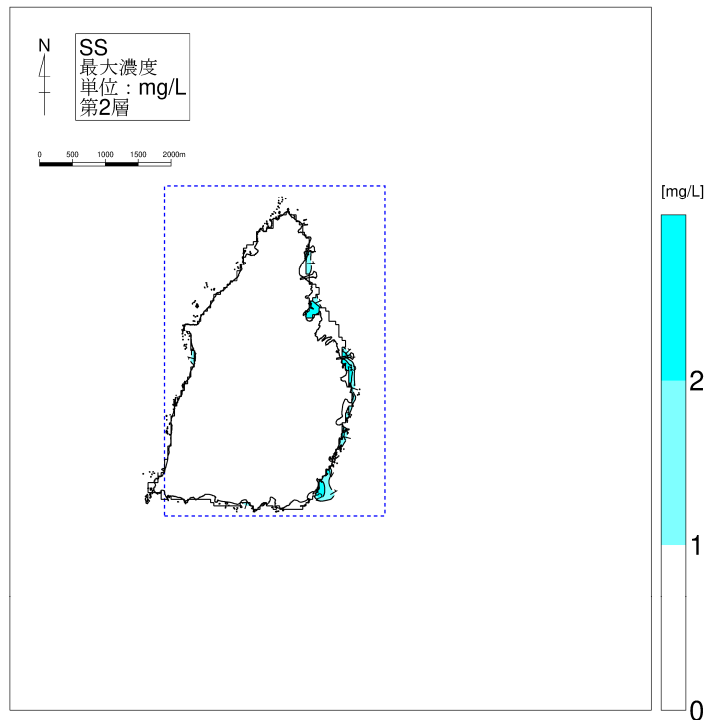


図-6.7.14(2) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第2層[2~4m])

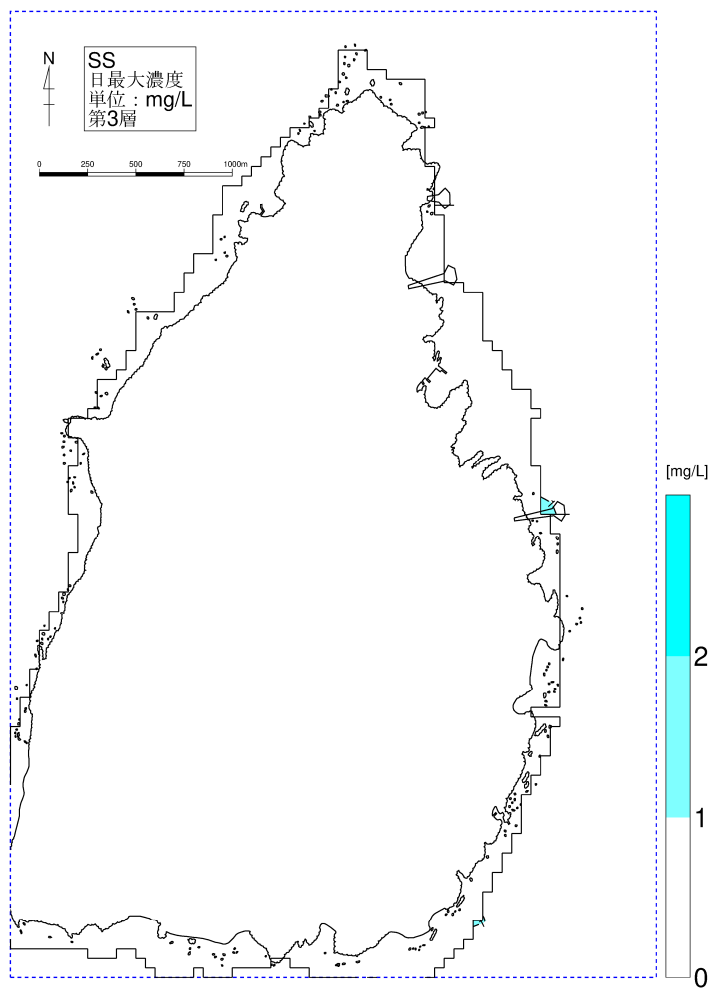
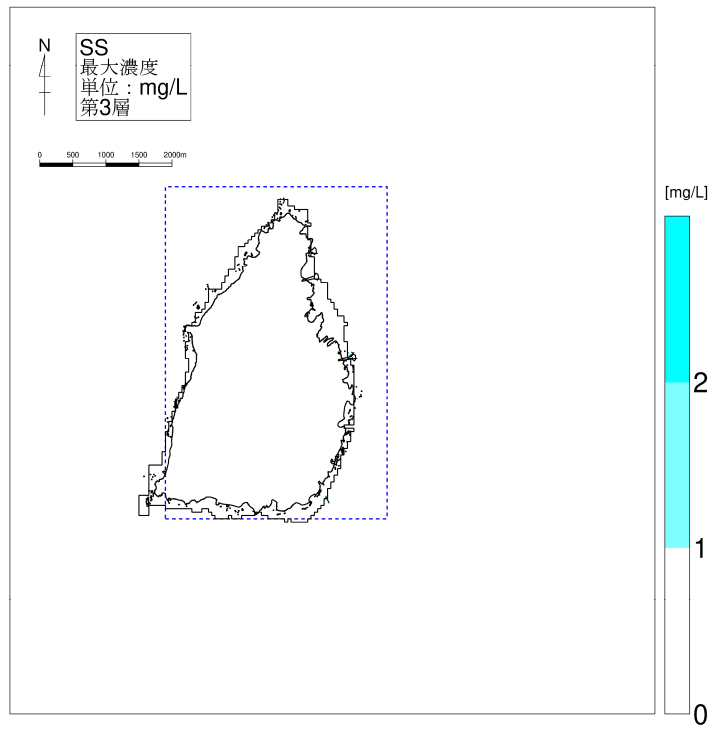


図-6.7.14(3) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第3層[4~7m])

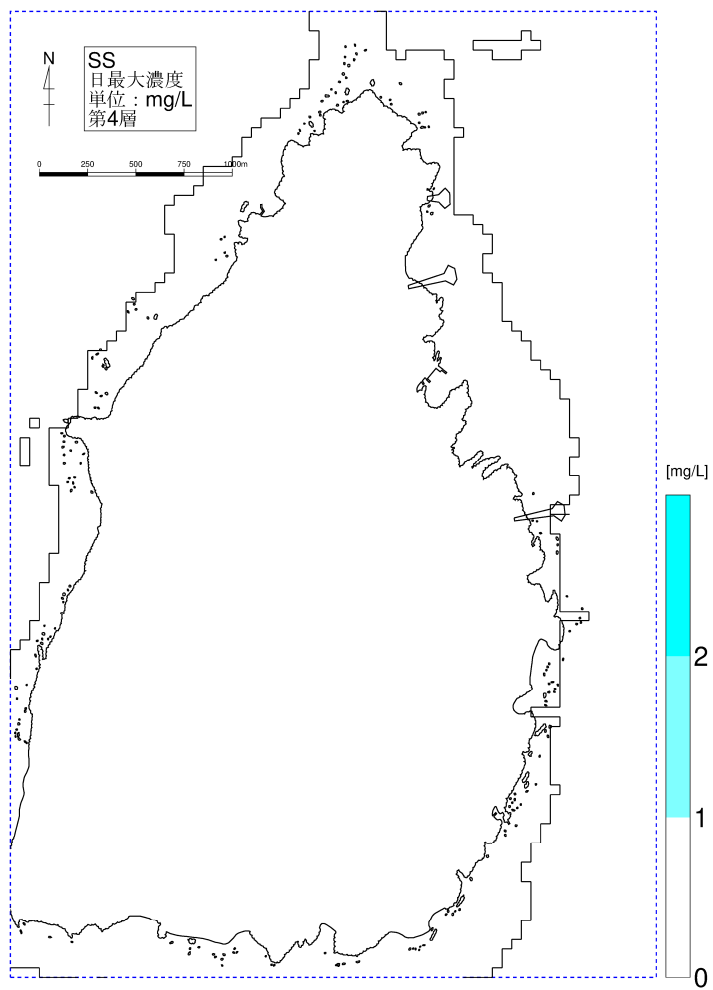
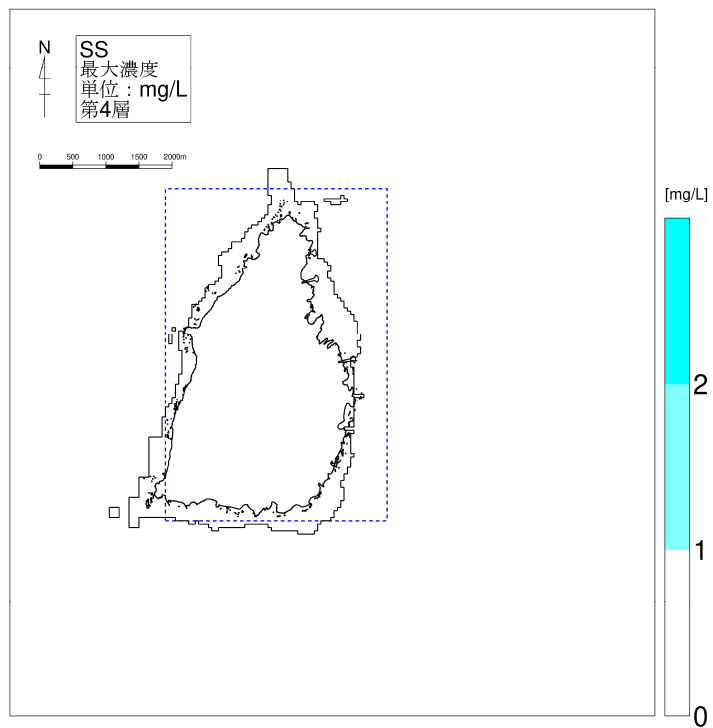


図-6.7.14(4) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第4層[7~10m])

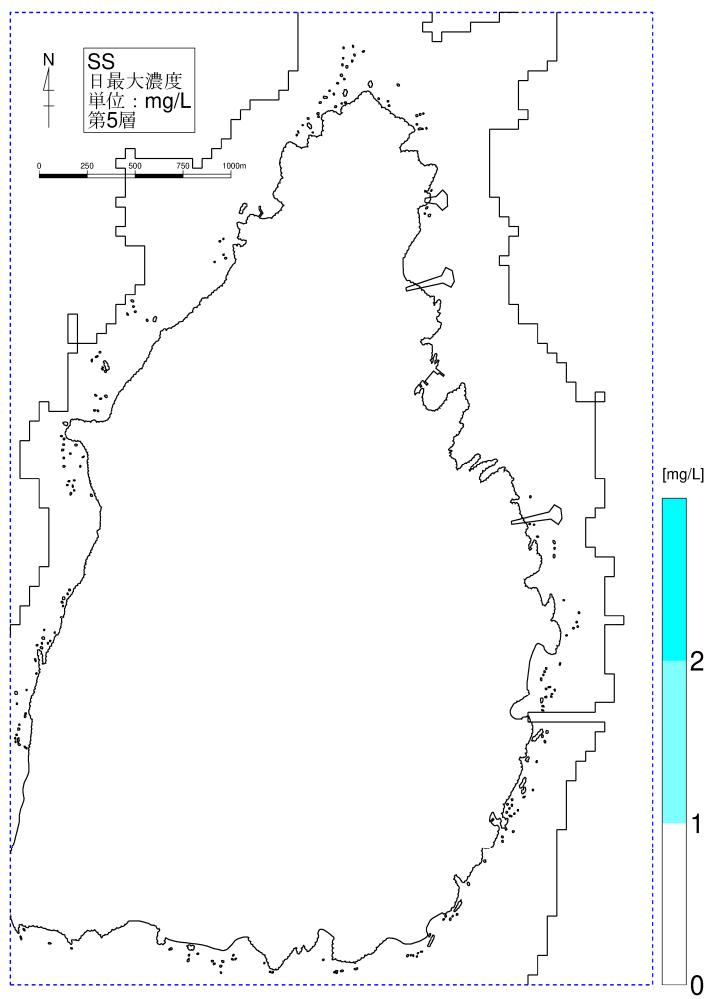
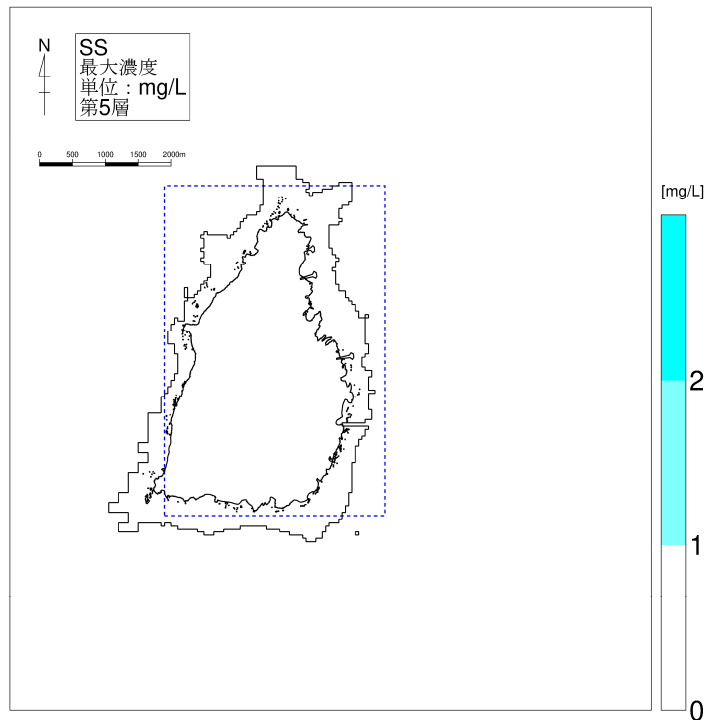


図-6.7.14(5) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第5層[10~15m])

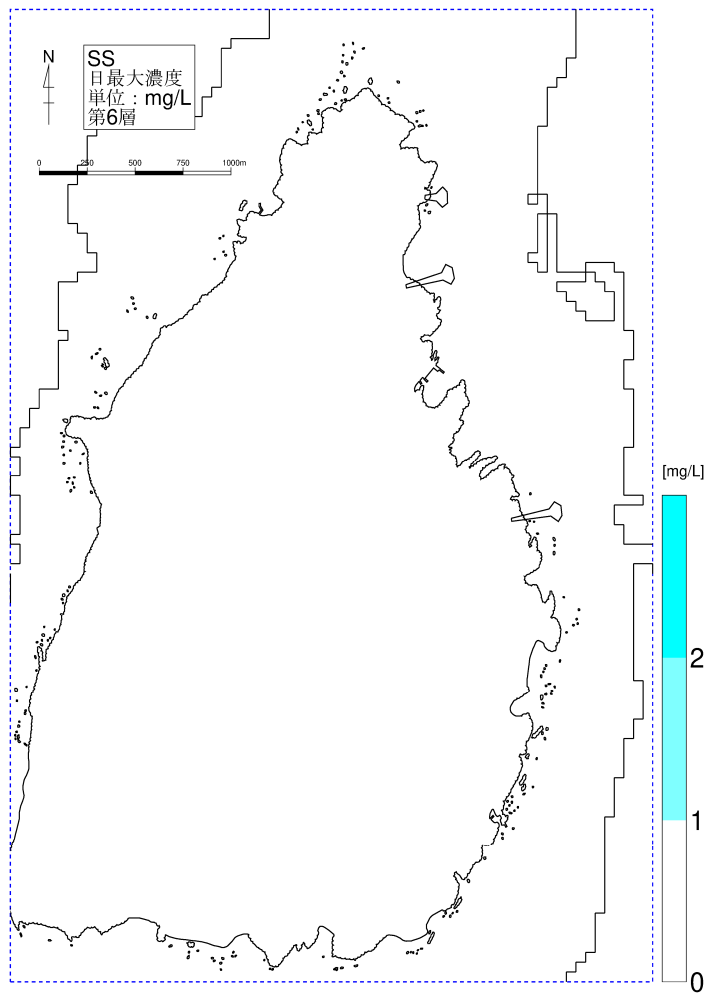
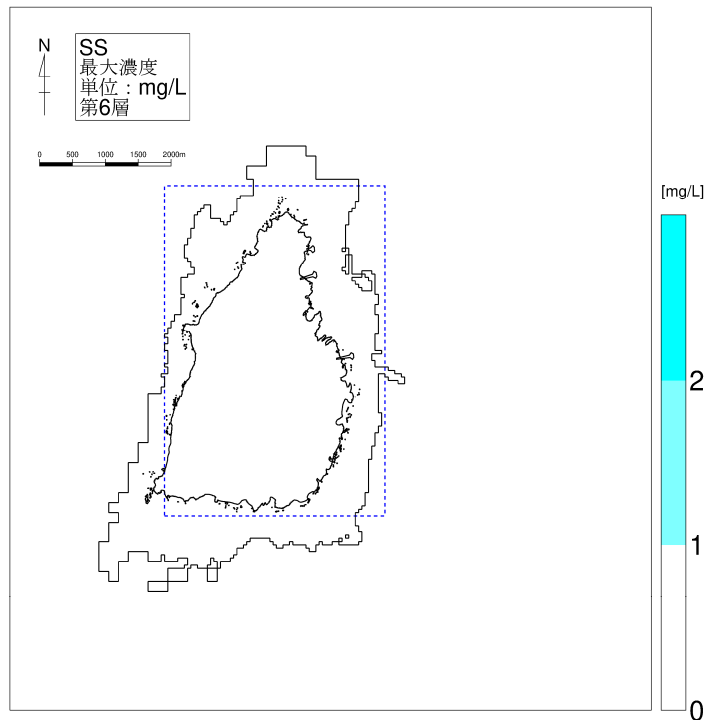


図-6.7.14(6) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第6層[15~20m])

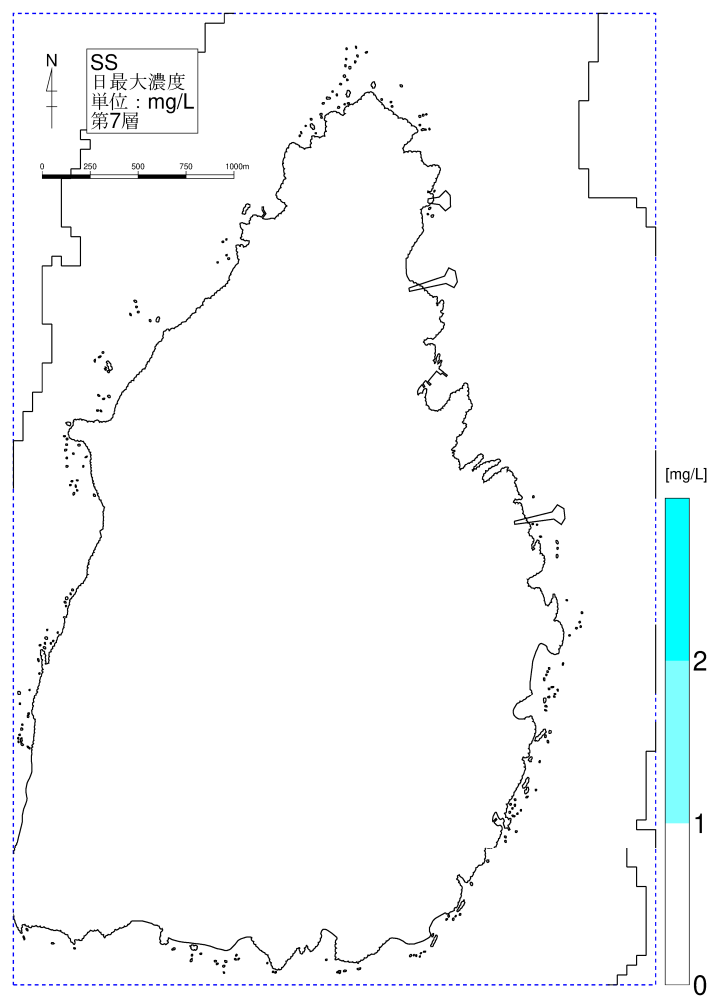
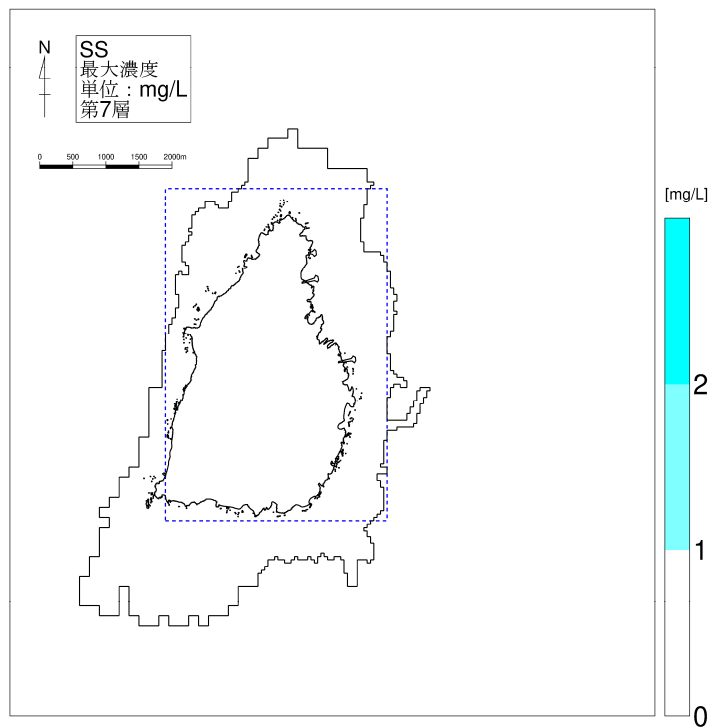


図-6. 7. 14(7) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第7層[20~30m])



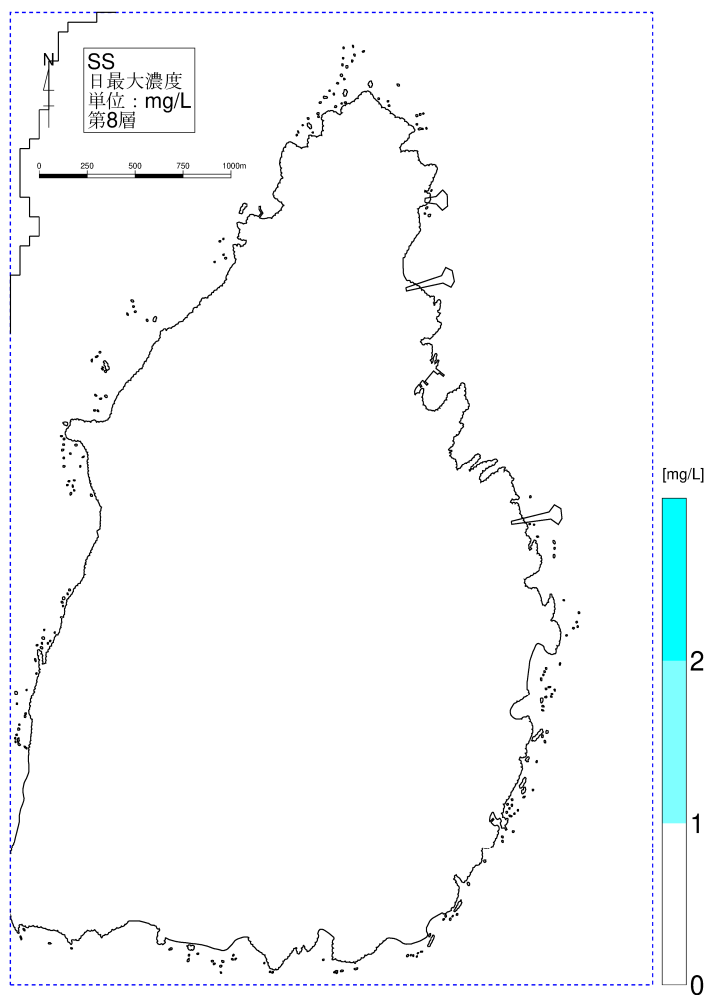
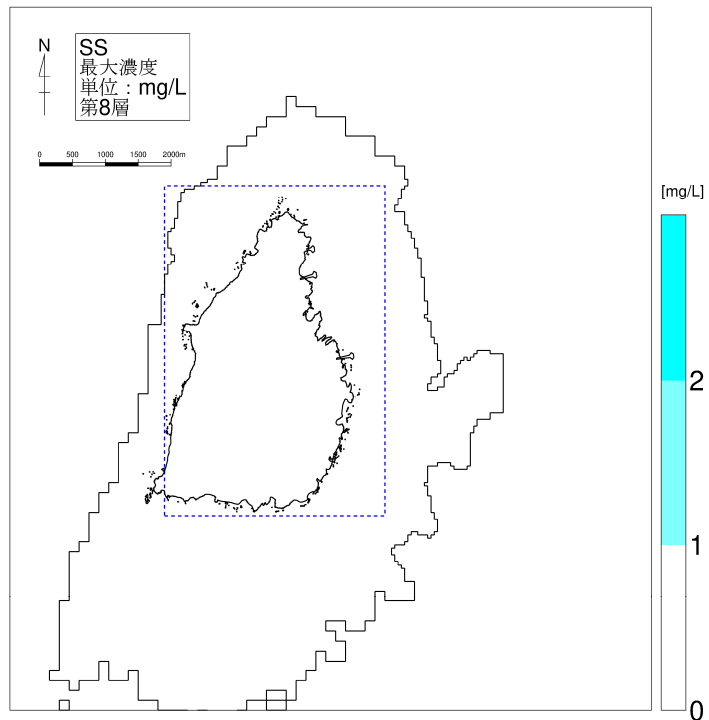


図-6.7.14(8) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第8層[30~50m])

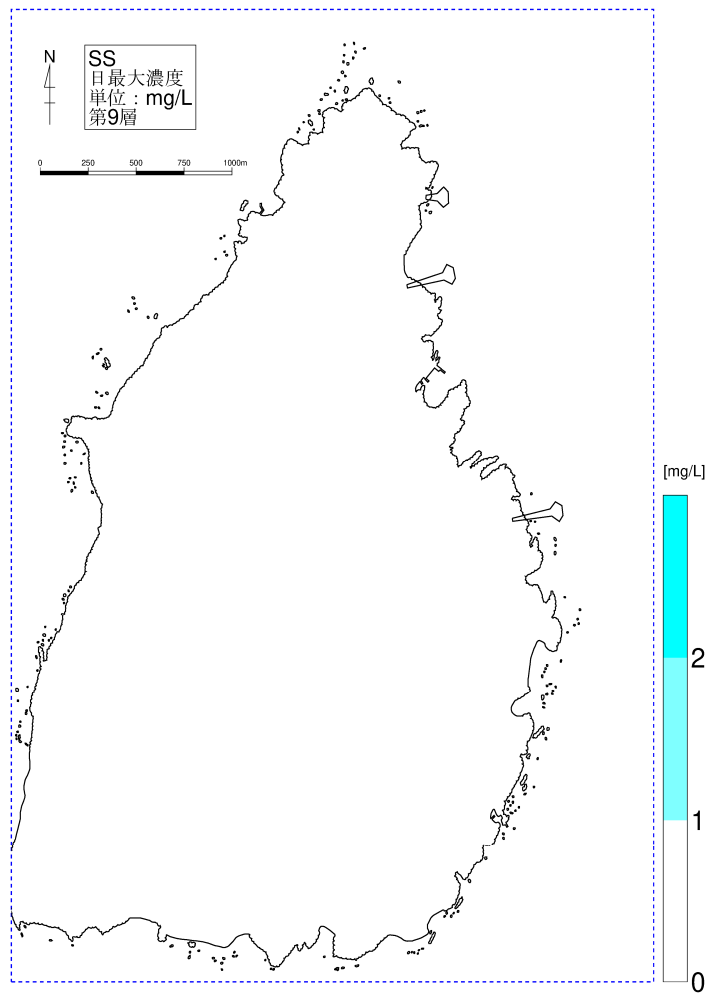
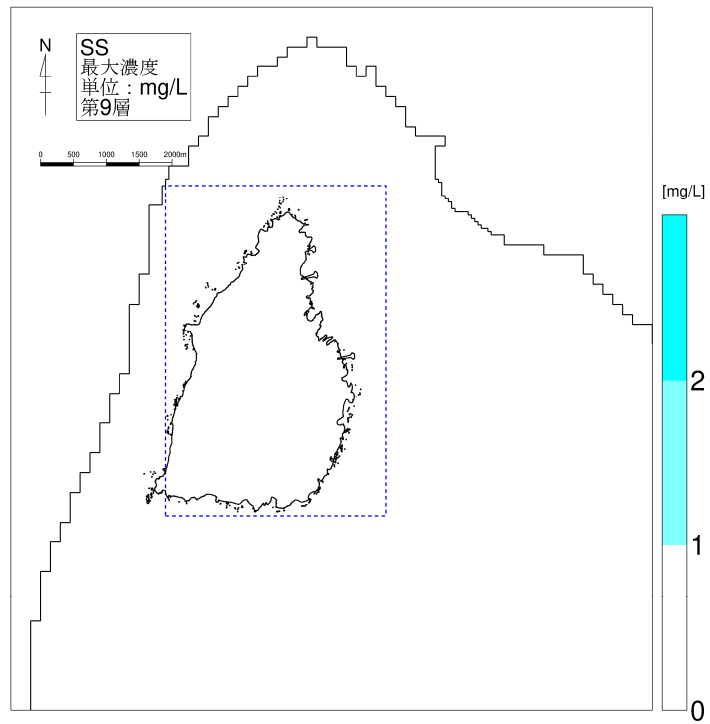


図-6.7.14(9) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第9層[50~100m])

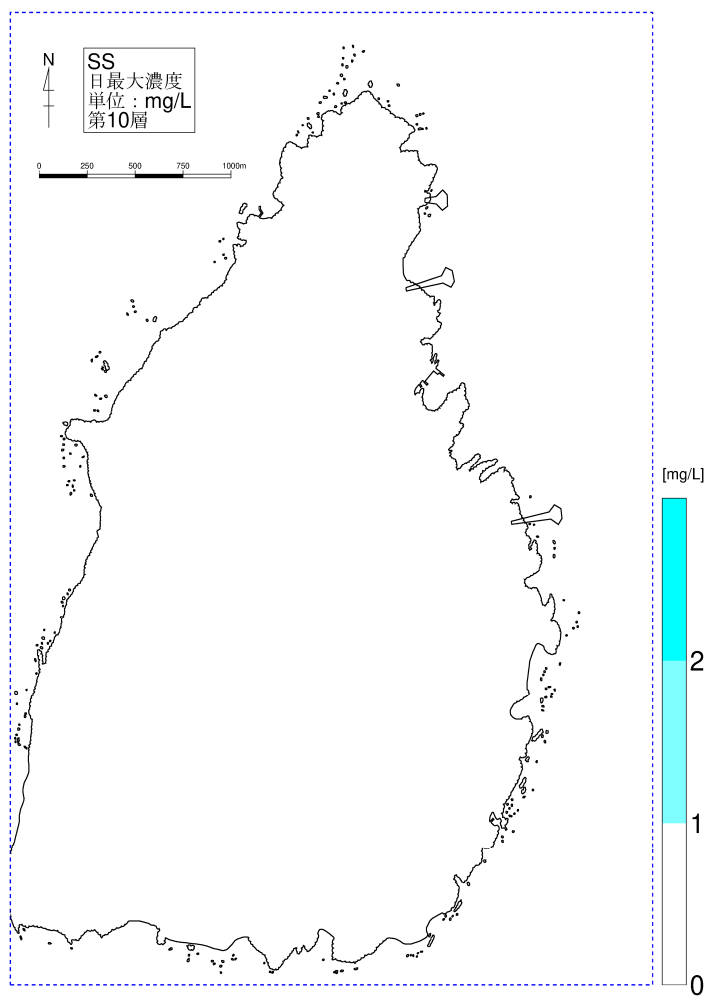
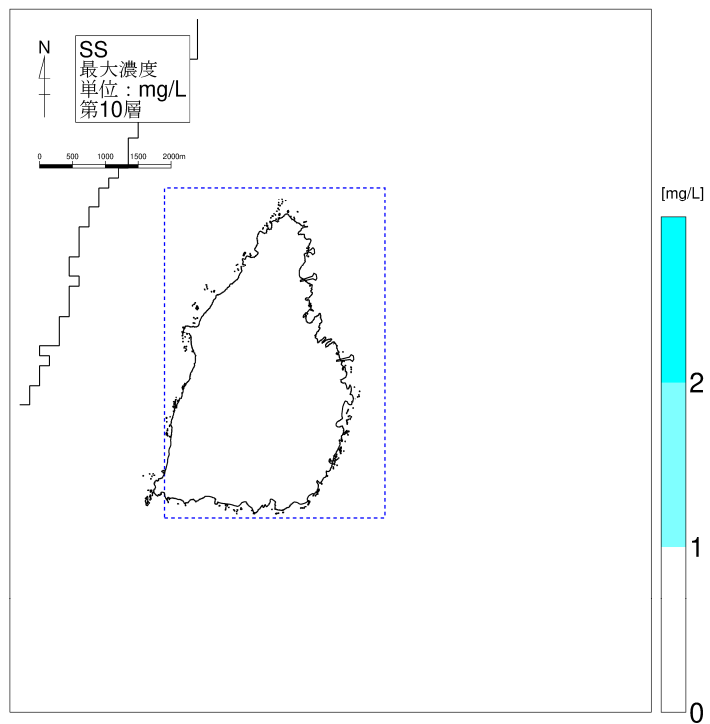


図-6.7.14(10) 降雨時のSS予測結果  
(1年次7~8ヶ月目、冬季、最大値、第10層[100m以深])

## (2) 飛行場及びその施設の存在及び供用

### 1) 予測の概要

飛行場及びその施設の存在及び供用については、陸上の裸地からの土砂の流出に伴って水の濁りが発生するおそれがあることから、表-6.7.15 に示すとおり予測を行いました。

表-6.7.15 土砂による水の濁り予測の概要（供用時）

項目	内容
予測項目	飛行場及びその施設の存在及び供用に伴い発生する土砂による水の濁り
影響要因	飛行場及びその施設（陸上施設）の存在及び供用
予測地域	対象事業実施区域周辺海域
予測対象時期	飛行場の施設の供用が定常状態であり、適切に予測できる時期としました。
予測方法	存在および供用時における土砂による水の濁りは、陸上の裸地からの土砂流出により発生するため、事業計画による裸地の面積から、影響を推定する方法により行いました。

### 2) 予測方法

存在及び供用時における土砂による水の濁りは、陸上の裸地からの土砂流出により発生するため、現況における裸地の面積及び事業計画による存在及び供用時における裸地の面積を比較することで、対象事業の実施が及ぼす影響を推定する方法により行いました。

### 3) 予測結果

現況における裸地の面積、存在及び供用時における裸地の面積は表-6.7.16 に示すとおりです。飛行場及びその施設の存在及び供用時には、既存の裸地の多くは飛行場施設の整備によりなくなり、残った裸地は緑化することに加え、施設内の雨水については、調整池を通じて排水することにより、海域へ流出する土砂等の量は、減少すると推定されます。従って、土砂による水の濁りも減少すると予測されま

表-6.7.16 裸地の面積 (km<sup>2</sup>)

現況	1.24
供用及び存在時	0

### 6.7.3 評価

#### (1) 工事の実施

##### 1) 環境影響の回避・低減に係る評価

###### (a) 環境保全措置の検討

工事中に発生する濁りが、対象事業実施区域周辺海域の水質に影響を及ぼす可能性が考えられることから、濁りの影響を低減するため、事業者により実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避・低減することを目的として、以下のとおり環境保全措置を検討しました。

- ・ 改変後は、植生基材吹付等により、すみやかに裸地面を保護し、濁水の流出を抑制します。

###### (b) 環境影響の回避・低減の検討

本環境影響評価項目については、水の濁りの拡散範囲は海域工事では工事箇所周辺の局所的で一時的な影響であり、陸域工事では 10 年確率降雨という大雨の時でも馬毛島周辺の沿岸域にとどまっており、事業者として実行可能な範囲内で低減が図られていると評価しました。

##### 2) 国又は地方公共団体による環境保全の基準又は目標との整合性に係る評価

###### (a) 環境保全の基準又は目標

鹿児島県環境基本計画における「環境保全に向けた取組」の中で、事業者の共通の取組として、「大気や水質などへの汚染物質の排出の削減」と記載されています。

また、「水産用水基準(2018 年版)」(社団法人日本水産資源保護協会、平成 30 年)には、「人為的に加えられる懸濁物質は 2mg/L 以下であること。」と定められており、SS 濃度については 2mg/L 以下を環境保全目標としました。

###### (b) 環境保全の基準又は目標との整合性

平常時における工事に伴い発生する水の濁りについては、1 年次 1 ヶ月目の港湾施設の工事では、日平均濃度の寄与濃度 2mg/L 以上の濁りは、工事实施周辺の局所的な範囲と予測されました。

降雨時における工事に伴い発生する水の濁りについては、仮設沈砂池の設置や濁水処理施設の設置により、10 年確率降雨という大雨の時でも日平均濃度の寄与濃度 2mg/L 以上の濁りの拡散範囲は、沿岸域にとどまると予測されました。

以上から、工事に伴い発生する水の濁りについて、環境保全の基準又は目標との整合性は図られていると評価しました。

## (2) 飛行場及びその施設の存在及び供用

### 1) 環境影響の回避・低減に係る評価

#### (a) 環境保全措置の検討

施設の存在及び供用により発生する濁りが、対象事業実施区域周辺海域の水質に影響を及ぼす可能性が考えられることから、濁りの影響を低減するため、事業者により実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避・低減することを目的として、以下のとおり環境保全措置を検討しました。

- ・ 改変後は、植生基材吹付等により、すみやかに裸地面を保護し、濁水の流出を抑制します。

#### (b) 環境影響の回避・低減の検討

現在、裸地となっている部分については緑化を行うこと、調整池を設置すること、また、飛行場及びその施設の設置により現状より裸地面積は減ることになり、事業者として実行可能な範囲内で低減が図られているものと評価しました。

## 2) 国又は地方公共団体による環境保全の基準又は目標との整合性に係る評価

### (a) 環境保全の基準又は目標

鹿児島県環境基本計画における「環境保全に向けた取組」の中で、事業者の共通の取組として、「大気や水質などへの汚染物質の排出の削減」と記載されており、これを環境保全目標としました。

### (b) 環境保全の基準又は目標との整合性

現在、裸地となっている部分については緑化を行うこと、調整池を設置すること、また、飛行場及びその施設の設置により現状より裸地面積は減ることになり、環境の保全に係る基準又は目標との整合性が図られているものと評価しました。

余白ページ